

一般国道
210号 浮羽バイパス関係埋蔵文化財調査報告 第9集

鷹取五反田遺跡 I

福岡県浮羽郡吉井町大字鷹取所在遺跡の調査

下巻

— 弥生時代 図版編 —

稲崎 A・B 遺跡

福岡県浮羽郡吉井町大字新治所在遺跡の調査

1998

福岡県教育委員会

一般国道
210号 浮羽バイパス関係埋蔵文化財調査報告 第9集

たか とり ご たん だ
鷹取五反田遺跡 I

福岡県浮羽郡吉井町大字鷹取所在遺跡の調査

下巻

— 弥生時代 図版編 —

いな ぎき
稲崎 A・B 遺跡

福岡県浮羽郡吉井町大字新治所在遺跡の調査

1998

福岡県教育委員会

序

福岡県教育委員会では建設省九州地方建設局の委託を受けて、昭和55（1980）年度から一般国道210号浮羽バイパスの建設に伴う、埋蔵文化財の発掘調査を実施してまいりました。調査は現在も継続中ですが、浮羽町・吉井町におきましては、部分的な一般供用も行なわれています。

この報告書は、昭和62（1987）年度に発掘調査を実施した浮羽郡吉井町大字稲崎所在の稲崎A・B遺跡、および平成2・5・6（1990・1993・1994）年度に発掘調査を実施した吉井町大字鷹取所在の鷹取五反田遺跡の記録です。当該地は筑後川と耳納山麓に挟まれた沖積平野に位置する肥沃な地勢であり、今回の調査によって、前者ではおもに古墳時代の、後者ではおもに弥生時代中期と古墳時代後期の集落遺跡を確認することができました。

本書が、地域史の研究や文化財保護思想の普及と活用の一助になれば幸甚に存じます。

発掘調査および出土遺物の整理作業や報告書作成にあたって、ご協力いただいた多くの方々に対しまして深甚の謝意を表します。

平成10年3月31日

福岡県教育委員会

教 育 長 光安 常喜

例 言

1. この報告書は、昭和62（1987）年度および平成2・5・6（1990・1993・1994）年度に福岡県教育委員会が建設省九州地方建設局の委託を受けて実施した一般国道210号浮羽バイパスの建設に先立つ埋蔵文化財の発掘調査記録で、一般国道210号浮羽バイパス関係埋蔵文化財調査報告の第9集である。
2. 本書に記録した稲崎A・B遺跡は、一般国道210号浮羽バイパスの埋蔵文化財発掘調査第6・7地点にあたり浮羽郡吉井町大字新治字塚本・高畑に、鷹取五反田遺跡は一般国道210号浮羽バイパスの埋蔵文化財発掘調査第9地点にあたり浮羽郡吉井町大字鷹取字五反田・中ノ坪に所在する。
3. 鷹取五反田遺跡の報告は平成9・10（1997・1998）年度の2カ年に分けるが、平成9年度は弥生時代遺構編、平成10年度は弥生時代包含層編および古墳時代以降編からなる。
4. 本書に掲載した遺構図は、稲崎A・B遺跡については小池史哲が、鷹取五反田遺跡については井上裕弘・木下修・小田和利・水ノ江和同・日高正幸・矢野和昭が作成した。
5. 本書に掲載した遺構写真は、稲崎A・B遺跡については小池が、鷹取五反田遺跡については井上・木下・小田・水ノ江が、遺物写真は北岡伸一を中心に井上・木下・小池・水ノ江が撮影した。なお、空中写真はフォト大家ならびに空中写真企画に委託した。
なお、使用した方位はすべて真北である。
6. 出土遺物の整理・復原作業は九州歴史資料館において岩瀬正信の、実測作業は文化課太宰府事務所において平田春美の、図面浄書作業は文化課太宰府事務所と文化課甘木事務所の豊福弥生・塩足里見の指導と協力によりそれぞれ実施した。
8. 出土遺物・写真・図面等については、すべて九州歴史資料館および福岡県文化課太宰府事務所に保管している。
9. 本書の執筆・編集は稲崎A・B遺跡については小池が実施した。鷹取五反田遺跡については、執筆は井上・木下・小田・水ノ江がそれぞれに分担し、編集は水ノ江が実施した。

本文目次

[鷹取五反田遺跡 (上巻)]

I	はじめに	
1.	調査の経緯と組織	1
2.	遺跡の位置と歴史的環境	6
II	発掘調査の記録—弥生時代編—	
1.	遺跡の概要	9
2.	竪穴住居跡	11
3.	掘立柱建物跡	91
4.	妻棺墓	94
5.	石棺墓	124
6.	土墳墓	127
7.	貯蔵穴	128
8.	土坑	135
9.	円形周溝状遺構	189
10.	谷部	205
11.	その他の遺物	205

[稲崎A・B遺跡 (下巻)]

I	はじめに	213
II	稲崎A遺跡の調査	216
III	稲崎B遺跡の調査	223
IV	おわりに	226

図 版 目 次

【鷹取五反田遺跡（下巻）】

- 図版 1 (1) 鷹取五反田遺跡第1次調査全景.1 (北から 1990)
(2) 鷹取五反田遺跡第1次調査全景.2 (北西から 1990)
- 図版 2 (1) 鷹取五反田遺跡第1次調査全景.3 (上が南 1990)
(2) 鷹取五反田遺跡第1次調査全景.4 (上が南 1990)
- 図版 3 (1) 鷹取五反田遺跡第3次調査全景.1 (北から 1994)
(2) 鷹取五反田遺跡第3次調査全景.2 (北西から 1994)
- 図版 4 (1) 鷹取五反田遺跡第3次調査全景.3 (上が南 1994)
(2) 鷹取五反田遺跡第3次調査全景.4 (上が南 1994)
- 図版 5 (1) 1号竪穴住居跡 (北西から)
(2) 2号竪穴住居跡 (北東から)
- 図版 6 (1) 3号竪穴住居跡 (北から)
(2) 4号竪穴住居跡 (北東から)
- 図版 7 (1) 11号竪穴住居跡および3号土坑.1 (西から)
(2) 11号竪穴住居跡および3号土坑.2 (南東から)
- 図版 8 (1) 12号竪穴住居跡 (南東から)
(2) 13号竪穴住居跡 (北東から)
- 図版 9 (1) 1～15号竪穴住居跡 (北東から)
(2) 15号竪穴住居跡 (東から)
- 図版10 (1) 16号竪穴住居跡 (北から)
(2) 17号竪穴住居跡 (北から)
- 図版11 (1) 18号竪穴住居跡 (北西から)
(2) 19号竪穴住居跡 (南から)
- 図版12 (1) 21号竪穴住居跡 (北から)
(2) 21号竪穴住居跡 (南西から)
- 図版13 (1) 23号竪穴住居跡 (東から)
(2) 23号竪穴住居跡屋内土坑 (北から)
- 図版14 (1) 28号竪穴住居跡 (南から)
(2) 28号竪穴住居跡遺物出土状態.1 (北から)

- 図版15 (1) 28号竪穴住居跡遺物出土状態.2 (南から)
(2) 28号竪穴住居跡遺物出土状態.3 (南西から)
- 図版16 (1) 29号竪穴住居跡 (南から)
(2) 29号竪穴住居跡土層断面 (南西から)
- 図版17 (1) 29号竪穴住居跡遺物出土状態.1 (北東から)
(2) 29号竪穴住居跡遺物出土状態.2 (南から)
- 図版18 (1) 30号竪穴住居跡 (南から)
(2) 32号竪穴住居跡 (南から)
- 図版19 (1) 34・35号竪穴住居跡および1号甕棺墓 (東から)
(2) 35号竪穴住居跡および1号甕棺墓 (東から)
- 図版20 (1) 62号竪穴住居跡 (北から)
(2) 63号竪穴住居跡 (北から)
- 図版21 (1) 64号竪穴住居跡 (東から)
(2) 79号竪穴住居跡 (北から)
- 図版22 (1) 82号竪穴住居跡 (南から)
(2) 83号竪穴住居跡 (西から)
- 図版23 (1) 83・84号竪穴住居跡 (西から)
(2) 83号竪穴住居跡遺物出土状態 (南西から)
- 図版24 (1) 84号竪穴住居跡 (南から)
(2) 84号竪穴住居跡遺物出土状態 (南から)
- 図版25 (1) 91号竪穴住居跡 (南西から)
(2) 91号竪穴住居跡 (北から)
- 図版26 (1) 92~94号竪穴住居跡 (東から)
(2) 92号竪穴住居跡遺物出土状態.1 (西から)
- 図版27 (1) 92号竪穴住居跡遺物出土状態.2 (南から)
(2) 92号竪穴住居跡遺物出土状態.3 (西から)
- 図版28 (1) 96号竪穴住居跡 (西から)
(2) 96号竪穴住居跡遺物出土状態 (西から)
- 図版29 (1) 102号竪穴住居跡 (東から)
(2) 103号竪穴住居跡 (南西から)
- 図版30 (1) 106号竪穴住居跡 (北西から)
(2) 107号竪穴住居跡 (北東から)
- 図版31 (1) 113号竪穴住居跡 (南から)

- (2) 113号竪穴住居跡完掘状態 (南から)
- 図版32 (1) 113号竪穴住居炉跡 (西から)
(2) 115号竪穴住居炉跡 (南から)
- 図版33 (1) 115号竪穴住居跡 (南から)
(2) 115号竪穴住居跡完掘状態 (南から)
- 図版34 (1) 方形竪穴状遺構 (南から)
(2) 3号獨立柱建物跡 (南西から)
- 図版35 (1) 1号甕棺墓 (南から)
(2) 2号甕棺墓 (南から)
- 図版36 (1) 3～6号甕棺墓 (東から)
(2) 3号甕棺墓 (南東から)
- 図版37 (1) 4号甕棺墓 (北西から)
(2) 5号甕棺墓 (北から)
- 図版38 (1) 5号甕棺墓人骨出土状態 (北から)
(2) 6号甕棺墓.1 (北から)
- 図版39 (1) 6号甕棺墓.2 (西から)
(2) 6号甕棺墓.3 (西から)
- 図版40 (1) 7号甕棺墓 (北東から)
(2) 8 A号甕棺墓標石 (西から)
- 図版41 (1) 8 A号甕棺墓 (東から)
(2) 8 B号甕棺墓 (南から)
- 図版42 (1) 9号甕棺墓 (北から)
(2) 10号甕棺墓 (北から)
- 図版43 (1) 11号甕棺墓 (東から)
(2) 12号甕棺墓 (南から)
- 図版44 (1) 13号甕棺墓 (南から)
(2) 14～16号甕棺墓 (北西から)
- 図版45 (1) 14号甕棺墓 (北西から)
(2) 15・16号甕棺墓 (北西から)
- 図版46 (1) 17号甕棺墓 (南から)
(2) 18号甕棺墓 (北東から)
- 図版47 (1) 19号甕棺墓 (南から)
(2) 20号甕棺墓 (南西から)

- 図版48 (1) 21号甕棺墓.1 (東から)
(2) 21号甕棺墓.2 (北から)
- 図版49 (1) 21号甕棺墓.3 (北西から)
(2) 21号甕棺墓人骨出土状態 (東から)
- 図版50 (1) 22号甕棺墓 (西から)
(2) 23号甕棺墓 (南西から)
- 図版51 (1) 1号石棺墓.1 (南から)
(2) 1号石棺墓.2 (南から)
- 図版52 (1) 1号貯蔵穴 (北から)
(2) 2号貯蔵穴 (北から)
- 図版53 (1) 3号貯蔵穴 (北東から)
(2) 4号貯蔵穴 (北東から)
- 図版54 (1) 5号貯蔵穴土層断面 (南から)
(2) 5号貯蔵穴.1 (北西から)
- 図版55 (1) 5号貯蔵穴.2 (南東から)
(2) 1号土坑 (北から)
- 図版56 (1) 2号土坑 (南から)
(2) 5号土坑 (南から)
- 図版57 (1) 6号土坑 (北東から)
(2) 8号土坑 (北から)
- 図版58 (1) 9号土坑 (西から)
(2) 17号土坑土層断面 (西から)
- 図版59 (1) 18~20号土坑 (北西から)
(2) 23号土坑 (北から)
- 図版60 (1) 24号土坑 (北から)
(2) 24号土坑遺物出土状態 (東から)
- 図版61 (1) 25号土坑 (南東から)
(2) 26号土坑 (北西から)
- 図版62 (1) 27号土坑 (北東から)
(2) 28号土坑および20号甕棺墓.1 (東から)
- 図版63 (1) 28号土坑および20号甕棺墓.2 (南から)
(2) 30号土坑 (南から)
- 図版64 (1) 31号土坑土層断面 (南から)

- (2) 31号土坑 (南から)
- 図版65 (1) 33号土坑 (南東から)
(2) 34~37号土坑 (南から)
- 図版66 (1) 34号土坑土層断面 (西から)
(2) 34号土坑 (南東から)
- 図版67 (1) 35号土坑土層断面 (南西から)
(2) 35号土坑 (南西から)
- 図版68 (1) 36号土坑土層断面 (北西から)
(2) 36号土坑 (北西から)
- 図版69 (1) 37号土坑土層断面 (北西から)
(2) 37号土坑 (北西から)
- 図版70 (1) 38号土坑土層断面 (南東から)
(2) 38号土坑 (北から)
- 図版71 (1) 39号土坑 (西から)
(2) 40号土坑 (南から)
- 図版72 (1) 41号土坑.1 (西から)
(2) 41号土坑.2 (西から)
- 図版73 (1) 41号土坑.3 (北西から)
(2) 41号土坑.4 (北西から)
- 図版74 (1) 1~4号円形周溝状遺構 (北から)
(2) 1号円形周溝状遺構 (西から)
- 図版75 (1) 2号円形周溝状遺構北半分.1 (北から)
(2) 2号円形周溝状遺構北半分.2 (南から)
- 図版76 (1) 2号円形周溝状遺構南半分 (北から)
(2) 2号円形周溝状遺構土層断面 (東から)
- 図版77 (1) 3号円形周溝状遺構 (南西から)
(2) 3号円形周溝状遺構および17号壟墓 (南西から)
- 図版78 (1) 5号円形周溝状遺構.1 (北から)
(2) 5号円形周溝状遺構.2 (南東から)
- 図版79 竪穴住居跡出土土器.1
- 図版80 竪穴住居跡出土土器.2
- 図版81 竪穴住居跡出土土器.3
- 図版82 竪穴住居跡出土土器.4

- 図版83 竪穴住居跡出土土器.5
図版84 竪穴住居跡出土土器.6
図版85 竪穴住居跡出土土器.7
図版86 竪穴住居跡出土土器.8
図版87 甕棺.1
図版88 甕棺.2
図版89 甕棺.3
図版90 甕棺.4
図版91 甕棺.5
図版92 甕棺.6
図版93 土坑出土土器.1
図版94 土坑出土土器.2
図版95 土坑出土土器.3
図版96 土坑出土土器.4
図版97 土坑出土土器.5
図版98 土坑出土土器.6
図版99 貯蔵穴・円形周溝状遺構出土土器
図版100 (1) 弥生時代の石器.1 (石鏃・剥片)
(2) 弥生時代の石器.2 (石廬丁)
図版101 (1) 弥生時代の石器.3 (石廬丁)
(2) 弥生時代の石器.4 (石剣・石斧・軽石)
図版102 (1) 弥生時代の石器.5 (砥石)
(2) 弥生時代の石器.6 (砥石)
図版103 (1) 弥生時代の石器.7 (砥石)
(2) 弥生時代の石器.8 (砥石)
図版104 (1) 弥生時代の石器.9 (磨石)
(2) 弥生時代の石器.10 (台石)
(3) 弥生時代の石器.11 (台石)
図版105 (1) 92号竪穴住居跡出土投弾形土製品群No.1
(2) 92号竪穴住居跡出土投弾形土製品群No.2～6
図版106 (1) 弥生時代の土製品.1
(2) 弥生時代の土製品.2
図版107 (1) 弥生時代の土製品.3

- (2) 弥生時代の土製品.4
 図版108 (1) 弥生時代の鉄器(表)
 (2) 弥生時代の鉄器(裏)
 図版109 (1) 発掘調査風景.1(調査区西端部 西から 1990)
 (2) 発掘調査風景.2(調査区東端部 南から 1994)

【稲崎A・B遺跡(下巻)】

- 図版111 (1) 稲崎A・B遺跡周辺航空写真(国土地理院提供)
 (2) 稲崎A遺跡全景
 図版112 (1) 稲崎A遺跡近景(北西から)
 (2) 1号土坑(南西から)
 図版113 (1) 大溝と支流A・B(南東から)
 (2) 大溝と支流A・B(北西から)
 図版114 (1) 大溝堆積状況
 (2) 出土石器
 図版115 出土土器
 図版116 (1) 稲崎B遺跡遠景(東北東から)
 (2) 稲崎B遺跡全景(東から)
 図版117 (1) 南側調査区(東から)
 (2) 住居跡状遺構と柱穴様ピット群(西から)
 図版118 (1) 小溝(東から)
 (2) 出土土器

挿 図 目 次

【鷹取五反田遺跡(上巻)】

付 図	鷹取五反田遺跡全体図(1/300)	
第1図	鷹取五反田遺跡の現況(1997.11撮影)	1
第2図	国道201号浮羽バイパス用地内の各調査地点(1/75,000)	2
第3図	鷹取五反田遺跡周辺地形図(1/3,000)	3
第4図	鷹取五反田遺跡年度別調査地点(1/2,000)	4
第5図	鷹取五反田遺跡周辺主要遺跡分布図(1/50,000)	8
第6図	鷹取五反田遺跡基本層序(1/60)	9

第7图	廣取五反田遺跡遺構配置図 (1/1,200).....	10
第8图	1・2号竪穴住居跡実測図 (1/60)	12
第9图	1号竪穴住居跡出土土器実測図 (1/4).....	13
第10图	2・3号竪穴住居跡出土土器実測図 (1/4).....	14
第11图	3・4・17号竪穴住居跡実測図 (1/60)	17
第12图	4号竪穴住居跡出土土器実測図 (1/4).....	18
第13图	11・14号竪穴住居跡実測図 (1/60)	19
第14图	12号竪穴住居跡実測図 (1/60)	20
第15图	13号竪穴住居跡実測図 (1/20)	20
第16图	15・16号竪穴住居跡実測図 (1/60)	21
第17图	16号竪穴住居跡出土土器実測図 (1/4).....	22
第18图	18・19号竪穴住居跡実測図 (1/60)	23
第19图	18・19号竪穴住居跡出土土器実測図 (1/4).....	24
第20图	21・22・26号竪穴住居跡実測図 (1/60)	25
第21图	21~23号竪穴住居跡出土土器実測図 (1/4).....	26
第22图	23・25号竪穴住居跡実測図 (1/60)	27
第23图	25号竪穴住居跡出土土器実測図.1 (1/4).....	28
第24图	25号竪穴住居跡出土土器実測図.2 (1/4).....	29
第25图	25~27号竪穴住居跡出土土器実測図 (1/4).....	30
第26图	27・29号竪穴住居跡実測図 (1/60)	32
第27图	28・30号竪穴住居跡実測図 (1/60)	34
第28图	28号竪穴住居跡出土土器実測図.1 (1/4).....	35
第29图	28号竪穴住居跡出土土器実測図.2 (1/4).....	36
第30图	28号竪穴住居跡出土土器実測図.3 (1/4).....	37
第31图	28号竪穴住居跡出土土器実測図.4 (1/4).....	38
第32图	29号竪穴住居跡出土土器実測図.1 (1/4).....	40
第33图	29号竪穴住居跡出土土器実測図.2 (1/6).....	41
第34图	29号竪穴住居跡出土土器実測図.3 (1/4).....	42
第35图	30号竪穴住居跡出土土器実測図.1 (1/4).....	44
第36图	30号竪穴住居跡出土土器実測図.2 (1/4).....	45
第37图	30号竪穴住居跡出土土器実測図.3 (1/4).....	46
第38图	30号竪穴住居跡出土土器実測図.4 (1/4).....	47
第39图	30・32号竪穴住居跡出土土器実測図 (1/4).....	48

第40图	32・34・35号竖穴住居跡出土土器実測図 (1/4)	49
第41图	32・58号竖穴住居跡実測図 (1/60)	51
第42图	34・35号竖穴住居跡実測図 (1/60)	52
第43图	62~64号竖穴住居跡実測図 (1/60)	53
第44图	62~64号竖穴住居跡出土土器実測図 (1/4)	54
第45图	79・82号竖穴住居跡実測図 (1/60)	56
第46图	79・82号竖穴住居跡出土土器実測図 (1/4)	57
第47图	82号竖穴住居跡出土土器実測図 (1/4)	58
第48图	83・113号竖穴住居跡実測図 (1/60)	60
第49图	83号竖穴住居跡出土土器実測図 (1/4)	61
第50图	84・91号竖穴住居跡実測図 (1/60)	63
第51图	84号竖穴住居跡出土土器実測図.1 (1/4)	64
第52图	84号竖穴住居跡出土土器実測図.2 (1/4)	65
第53图	91号竖穴住居炉跡実測図 (1/20)	67
第54图	91号竖穴住居跡出土土器実測図 (1/4)	67
第55图	92~94号竖穴住居跡実測図 (1/60)	68
第56图	92号竖穴住居跡遺物出土状況および炉跡土層断面実測図 (1/20)	69
第57图	92号竖穴住居跡出土土器実測図.1 (1/4)	70
第58图	92号竖穴住居跡出土土器実測図.2 (1/4)	71
第59图	93号竖穴住居跡出土土器実測図 (1/4)	72
第60图	94号竖穴住居跡出土土器実測図 (1/4)	74
第61图	96・99号竖穴住居跡実測図 (1/60)	76
第62图	96・99号竖穴住居跡出土土器実測図 (1/4)	77
第63图	100・102号竖穴住居跡実測図 (1/60)	79
第64图	102号竖穴住居跡出土土器実測図 (1/4)	80
第65图	102・103号竖穴住居跡出土土器実測図 (1/4)	81
第66图	103・106号竖穴住居跡実測図 (1/60)	83
第67图	107・122号竖穴住居跡実測図 (1/60)	84
第68图	106・107号竖穴住居跡出土土器実測図 (1/4)	85
第69图	107号竖穴住居炉跡出土土器実測図 (1/4)	86
第70图	113号竖穴住居炉跡実測図 (1/20)	86
第71图	115号竖穴住居跡実測図 (1/60)	88
第72图	115号竖穴住居炉跡実測図 (1/20)	88

第73図	113・115・122号竪穴住居跡出土土器実測図 (1/4)	89
第74図	方形竪穴状遺構実測図 (1/60)	91
第75図	3号掘立柱建物跡実測図 (1/60)	92
第76図	方形竪穴状遺構および3号掘立柱建物跡出土土器実測図 (1/4)	93
第77図	土墳墓・壘棺墓配置図 (1/1,600)	94
第78図	1～4号壘棺墓実測図 (1/20)	95
第79図	1～4号壘棺実測図 (1/8)	97
第80図	5・6号壘棺墓実測図 (1/20)	99
第81図	5・6号壘棺実測図 (1/8)	101
第82図	7・8号A壘棺墓実測図 (1/20)	102
第83図	7号壘棺実測図 (1/8)	103
第84図	8号A壘棺墓掘りかた内出土土器実測図 (1/4)	104
第85図	8B・9・10号壘棺墓実測図 (1/20)	105
第86図	8A・8B・9号壘棺実測図 (1/8)	107
第87図	10～12・15・19号壘棺実測図 (1/8)	109
第88図	11～14号壘棺墓実測図 (1/20)	110
第89図	13号壘棺実測図 (1/8)	111
第90図	14号壘棺実測図 (1/8)	112
第91図	15・16号壘棺墓実測図 (1/20)	113
第92図	16号壘棺実測図 (1/8)	114
第93図	17・19・20号壘棺墓実測図 (1/20)	116
第94図	17・20号壘棺実測図 (1/8)	117
第95図	18号壘棺墓実測図 (1/20)	118
第96図	21号壘棺墓実測図 (1/20)	120
第97図	22・23号壘棺墓実測図 (1/20)	122
第98図	18・21～23号壘棺実測図 (1/8)	123
第99図	1号石棺墓実測図 (1/20)	124
第100図	8・9号土墳墓実測図 (1/20)	125
第101図	9号土墳墓出土土器実測図 (1/4)	126
第102図	貯蔵穴・円形周溝状遺構配置図 (1/1,600)	128
第103図	1・2号貯蔵穴実測図 (1/40)	129
第104図	3・4号貯蔵穴実測図 (1/40)	130
第105図	1～4号貯蔵穴出土土器実測図 (1/4)	131

第106图	5号贮藏穴实测图 (1/4)	133
第107图	5号贮藏穴出土器实测图 (1/4)	134
第108图	1~3号土坑实测图 (1/40)	136
第109图	1~5号土坑出土器实测图 (1/4)	137
第110图	4·8号土坑实测图 (1/40)	138
第111图	5·6·9·10号土坑实测图 (1/30)	139
第112图	6号土坑出土器实测图.1 (1/4)	141
第113图	6号土坑出土器实测图.2 (1/4)	142
第114图	6·7号土坑出土器实测图 (1/4)	143
第115图	8~10号土坑出土器实测图 (1/4)	145
第116图	11·13·14号土坑实测图 (1/40)	146
第117图	11·13·14号土坑出土器实测图 (1/4)	147
第118图	15~17号土坑实测图 (1/40)	149
第119图	16·17号土坑出土器实测图 (1/4)	150
第120图	17号土坑出土器实测图.1 (1/4)	151
第121图	17号土坑出土器实测图.2 (1/4)	152
第122图	18·19号土坑实测图 (1/40)	153
第123图	18号土坑出土器实测图.1 (1/4)	154
第124图	18号土坑出土器实测图.2 (1/4)	155
第125图	20号土坑实测图 (1/40)	156
第126图	22·23号土坑实测图 (1/40)	157
第127图	19·20·22·23号土坑出土器实测图 (1/4)	158
第128图	24~26号土坑实测图 (1/40)	159
第129图	24·25号土坑出土器实测图 (1/4)	161
第130图	26·27号土坑出土器实测图 (1/4)	162
第131图	27·28号土坑实测图 (1/30)	163
第132图	28号土坑出土器实测图 (1/4)	164
第133图	29号土坑实测图 (1/40)	165
第134图	29号土坑出土器实测图 (1/4)	166
第135图	30·31号土坑实测图 (1/60)	167
第136图	30·31号土坑出土器实测图 (1/4)	168
第137图	33~36号土坑实测图 (1/60)	171
第138图	33号土坑出土器实测图 (1/4)	173

第139図	37号土坑実測図 (1/40).....	174
第140図	38・39号土坑実測図 (1/40).....	175
第141図	34・37・38号土坑出土土器実測図 (1/4)	176
第142図	38号土坑出土土器実測図 (1/4)	177
第143図	40号土坑実測図 (1/60).....	178
第144図	41号土坑実測図 (1/60).....	179
第145図	40・41号土坑出土土器実測図 (1/4)	181
第146図	41号土坑出土土器実測図.1 (1/4)	182
第147図	41号土坑出土土器実測図.2 (1/4)	183
第148図	41号土坑出土土器実測図.3 (1/4)	184
第149図	41号土坑出土土器実測図.4 (1/4)	185
第150図	41号土坑出土土器実測図.5 (1/4)	186
第151図	41号土坑出土土器実測図.6 (1/4)	187
第152図	廣取五反田遺跡調査区東端部遺構配置図 (1/400)	188
第153図	1・3号円形周溝状遺構実測図 (1/60).....	190
第154図	2号円形周溝状遺構実測図 (1/60).....	191
第155図	1・2号円形周溝状遺構出土土器実測図 (1/4)	193
第156図	2号円形周溝状遺構出土土器実測図.1 (1/4)	194
第157図	2号円形周溝状遺構出土土器実測図.2 (1/4)	195
第158図	2号円形周溝状遺構出土土器実測図.3 (1/4)	196
第159図	4号円形周溝状遺構実測図 (1/60).....	197
第160図	5号円形周溝状遺構実測図 (1/60)	折込
第161図	6号円形周溝状遺構実測図 (1/60).....	199
第162図	3・5・6号円形周溝状遺構出土土器実測図 (1/4)	200
第163図	土製品実測図.1 (1/2)	201
第164図	土製品実測図.2 (1/2)	202
第165図	土製品実測図.3 (1/2)	203
第166図	弥生時代の石器実測図.1 (1～5は1/2 6～10は1/3).....	206
第167図	弥生時代の石器実測図.2 (1～5は2/3 6～17は1/2).....	207
第168図	弥生時代の石器実測図.3 (1/3)	208
第169図	弥生時代の石器実測図.4 (1/3)	209
第170図	弥生時代の石器実測図.5 (1/4)	210
第171図	竪穴住居跡および土坑出土土器実測図 (1/2)	211

【稲崎A・B遺跡（下巻）】

第172図	稲崎A・B遺跡周辺地形図と圃場整備施行後の現況図（1/3,000）	214
第173図	稲崎A遺跡遺構配置図（1/300）	215
第174図	1号土坑実測図（1/30）	216
第175図	大溝・大溝支流土層図（1/60）	217
第176図	大溝出土土器実測図.1（1/3）	218
第177図	大溝出土土器実測図.2（1/3）	219
第178図	大溝出土土器実測図.3（1/3）	220
第179図	大溝出土土器実測図.4（1/3）	222
第180図	大溝支流A出土土器実測図（1/3）	223
第181図	包含層等出土遺物実測図.1（1/3）	224
第182図	包含層等出土遺物実測図.2（1/3）	225
第183図	包含層等出土遺物実測図.3（1/3）	226
第184図	稲崎B遺跡遺構配置図（1/300）	227
第185図	住居跡状遺構実測図（1/60）	227
第186図	小溝土層実測図（1/60）	227
第187図	出土土器実測図（1/3）	228
第1表	国道210号浮羽バイパス用地内の各調査地点一覧	2
第2表	92号竪穴住居跡出土投擲形土製品観察表	204

稻崎 A・B 遺跡

稲崎 A・B 遺跡の調査

1 はじめに

稲崎 (Inazaki) A 遺跡・B 遺跡は、福岡県浮羽郡吉井町大字新治 (Niiharu) 字塚本 (Tukamoto) と字高畑 (Takahata) に所在する。遺跡名を稲崎としたのは、当初に、至近の距離にある集落の行政区名を使用して地点名を表したのに起因する。

遺跡は、吉井町市街地の北西方に位置し、筑後川の形成した自然堤防とみられる微高地上に立地するが、筑後川支流の巨瀬川右岸の標高27.9mと27.6m前後にある。図では新国土座標Ⅱ系で示したが、北緯33°20'39"で、東経130°45'と130°44'48"付近に該当する。

近くには前方後円墳の女塚古墳が稲崎集落の北東方にあり、前方部を西側に向ける。また浮羽バイパス建設に先立ち発掘調査した弥生時代から古代にかけての集落遺跡である仁衛門畑遺跡は新治団地を挟んだ東方に位置している。

浮羽バイパス STA.No50～No98の区間は、周辺の吉井地区県営園地整備事業との関係で、昭和62年度に工事実施計画があり、事前の文化財調査についての依頼が建設省福岡工事事務所から昭和62年度当初に提出された。このため、昭和62年4月13日(月)に、吉井町建設課、土地改良区、県甘木農林事務所、建設省福岡工事事務所と文化課が現地協議をもち、周知遺跡の清宗遺跡に近いNo50～No60区間は土砂の仮置き場になっていたため排除後でないとして試掘調査を実施できないが、文化財包蔵地の可能性の高いNo74～No96の区間について急遽試掘調査を実施することになった。4月15日から試掘調査を実施した結果、No74～No75の区間(第7地点=稲崎B遺跡)、No89～No93の区間(第6地点=稲崎A遺跡)で、文化財が確認されたため、全面発掘調査に切り替えることになった。

4月18日から稲崎A遺跡の重機による表土剥ぎを始めて、24日から人力による遺構の掘り下げ作業を開始し、古墳時代の大溝などの遺構を調査した。この遺跡では周囲一帯が水田面で、降雨のたびに冠水に悩まされる状況であった。

稲崎B遺跡は、5月1日までに表土剥ぎを終了させていたが、遺構は南西隅部に集中する程度で全体的には疎らな状況であったが、5月22日から人力による遺構掘り下げ作業を開始し、5月28日に実測などの記録を終えて器材を撤収した。

調査にあたり、石橋テル子、山下スマ子、古矢加代子、川島和子、江崎実千代、篠原サツキ、篠原進、佐藤恵美子、末次梅子、堀江ミヤ子、樋口美子、樋口サチ子、大野マスミ、足立エミ子などの地元在住の方々に作業員として協力をお願いした。また測量基準杭設定に西鉄CG、日高正幸氏の協力を得、吉井町教育委員会には諸々のご協力を頂いた。記して感謝したい。

第172図 稲崎A・B遺跡周辺地形図と圃場整備施行後の現況図 (1/3,000)





第173圖 稻崎A遺跡遺構配置圖 (1/300)

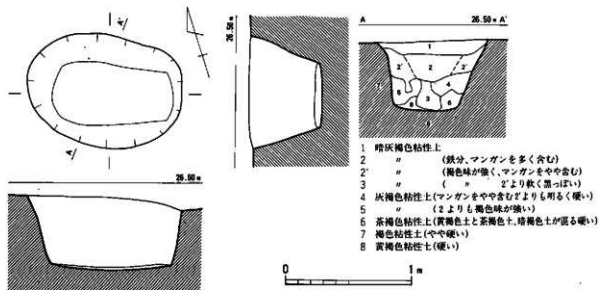
2 稻崎A遺跡の調査

占井町農産物乾燥施設（通称カントリーエレベーター）に隣接する部分で、高圧線の真下部分が調査区であるが、約1300㎡を全面発掘した。調査区内では、大溝、大溝支流と、土坑などの遺構と不定形なピットや溝状遺構などが発見された。特に、北東部では粘性の強い褐色粘性土の地山に暗茶褐色ないし黒色土が入り込んだ不定形なピットや土坑、溝状遺構などが40ヶ所余り発見されたものの、プランの明確な遺構はみらず、床面も凹凸の激しい落ち込みになっている例が多い。調査中に、調査区南方で高圧線鉄塔移設に伴う試掘調査が実施されたが、やや粘土質の地山を掘り込む柱穴状ピットが発見され、古式土師器片が出土している。

1号土坑（図版112-2、第174図）

調査区中央部の北側寄りになる、 $X = +382220$ 、 $Y = -23236$ 地点付近に発見された。N-72°-Wの方向に主軸が向く、楕円形プランの土坑で、長径1.22m、短径0.90m、深さ0.55mの規模で、床面は幾分か中凹みながらもほぼ平坦である。坑内の堆積土はマンガンを含有し全体に硬い。なお、床面に炭化した草のような植物質の薄い層がみられた。

出土遺物 土師器小破片が堆積土下部で出土したものの、図示に耐えない。



第174図 1号土坑実測図 (1/30)

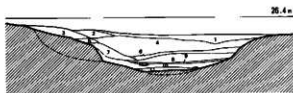
大溝 (図版113・114-1、第173・175図)

調査区の中央部に発見された。上縁での幅10.0~12.0mで、調査区南東部から北西方に横断するが、南西側肩部は、北東側肩部に比して緩やかな傾斜をもち、下部で更に急傾斜に落ち込む流路がみられる。この深い部分の流路を大溝と呼ぶことにするが、蛇行しながらX=+38202、Y=-23227地点からX=+38221、Y=-23251地点に流下する自然流路らしい。大溝は幅3.0m、南東側端での底面は標高25.86m、北西側端での底面は25.20mで、約35.0mの距離に対して高低差が0.65mある。

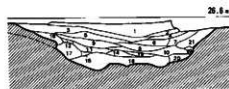
堆積土は、上部に無遺物の茶褐色味を帯びた粘土が乗り、その下に黧黒色の粘性の強い粘土層が堆積し、若干古式土師器を含む。更に下層は灰青色の砂で、円礫を混じえる。遺物量はさほど多くはない。

溝内にみられる施設は、わずかに、支流Aのぶつかる部分の先の岸にあたる部分で、黒色粘性土下部に杭が打ち込まれた痕跡を、確認したに留まる。

出土土器 (図版115、第176~179図)



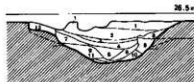
- 1 堆積褐色土(流下で灰色→灰→粘性土)
- 2 * (黒色味が強い)
- 3 堆積白色土(やや褐色味を帯びる)粘結質土
- 4 堆積灰色粘結土
- 5 溝底内包層粘結土(やや灰青色味を帯びる)
- 6 堆積褐色粘結土(下層褐色味を帯びる)
- 7 堆積白色粘結土(灰→灰)
- 8 堆積褐色粘結土(灰よりも赤味多→灰)
- 9 黄褐色粘結土
- 10 堆積白色粘結土(灰よりも黄二砂→灰より多)
- 11 円礫多し、堆積粘結質砂層
- 12 黄褐色粘結質砂(粘性強め)
- 13 灰青色粘結土



- 1 堆積褐色粘結土
- 2 * (灰色→灰)
- 3 茶褐色粘結質土
- 4 * (砂質少く(灰色味強))
- 5 堆積褐色粘結土(堆積土に近)
- 6 堆積白色粘結土
- 7 * (若干褐色粘結土を含む)
- 8 7よりも褐色味が強い
- 9 堆積褐色粘結土(よりも明るく褐色味強い)
- 10 堆積土、粘結土
- 11 堆積土、粘結土(よりも褐色味が強い)
- 12 堆積褐色→堆積褐色の中褐色、粘性土
- 13 灰白色、粘結質土
- 14 灰白色、やや砂質の粘性土
- 15 14に近いがやや暗い色層
- 16 褐色味を帯びる粘結質粘結土
- 17 堆積褐色粘結質粘結土(灰)の中褐色
- 18 堆積褐色粘結土(砂礫を多く含む)
- 19 黄褐色粘結土
- 20 黄褐色粘結土
- 21 黄褐色、黄褐色粘結土
- 22 黄褐色、砂質粘結土
- 23 黄褐色粘結土

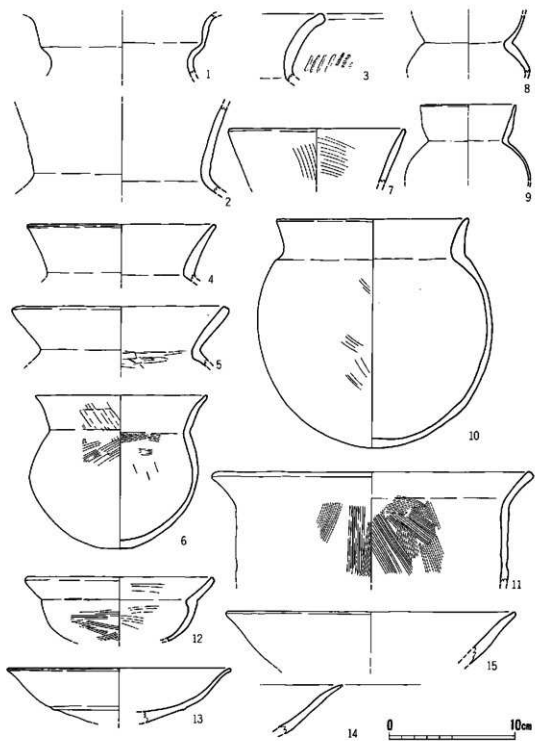


- 1 堆積褐色(やや灰青色味を帯びる)粘性土
- 2 流下の堆積褐色粘結土
- 3 黄褐色粘結土(多量、堆積褐色土)
- 4 * (3より黄褐色味強い)
- 5 黄褐色味を帯びる粘結質粘結土
- 6 5よりも明るい色調で砂質が多
- 7 黄褐色粘結土



- 1 堆積褐色粘結土(流下で黄褐色味強い)
- 2 堆積褐色粘結土(流下で黄褐色味強い)
- 3 灰下層(粘結土)を伴った堆積褐色粘結土
- 4 堆積褐色粘結土
- 5 堆積褐色粘結土(流下で黄褐色味強い)
- 6 堆積褐色粘結土(流下で黄褐色味強い)
- 7 堆積褐色粘結土(流下で黄褐色味強い)
- 8 堆積褐色粘結土(流下で黄褐色味強い)
- 9 堆積褐色粘結土(流下で黄褐色味強い)
- 10 堆積褐色粘結土(流下で黄褐色味強い)
- 11 堆積褐色粘結土(流下で黄褐色味強い)
- 12 堆積褐色粘結土(流下で黄褐色味強い)
- 13 堆積褐色粘結土(流下で黄褐色味強い)
- 14 堆積褐色粘結土(流下で黄褐色味強い)
- 15 堆積褐色粘結土(流下で黄褐色味強い)
- 16 堆積褐色粘結土(流下で黄褐色味強い)
- 17 堆積褐色粘結土(流下で黄褐色味強い)
- 18 堆積褐色粘結土(流下で黄褐色味強い)
- 19 堆積褐色粘結土(流下で黄褐色味強い)

第175図 大溝・大溝支流土層図 (1/60)



第176图 大溝出土土器実測図.1 (1/3)

上層出土土器

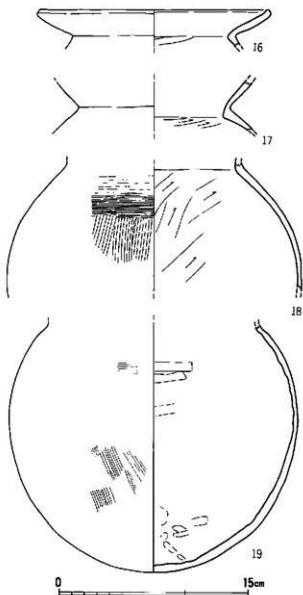
壺(1~3) 1は複合口縁壺の口縁部破片だが、口縁端部を欠く。頸部は短めに括れ、器面は内外面共にヨコナデ調整される。2も端部を欠くが、広口壺の口頸部破片である。口縁部は直線的に開き、内外面共にヨコナデ調整される。3は緩やかに外反する口縁部破片で、端部は上方に持ち上げ加減にまとまる。頸部外面に叩き目の凹みとハケ目を残すが、内外面共にヨコナデ調整される。いずれも胎土に細砂粒・角閃石・雲母・赤褐色粒などを含み、灰黄褐色などに焼成されている。

壺(4~7・10・11・16~19)

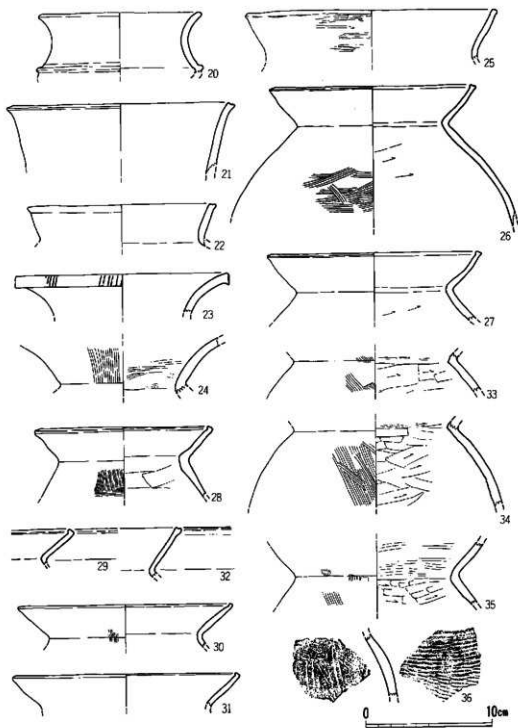
4は口縁部がやや長めで直線的に開く口縁部破片で、端部は丸みをもって短くまとまる。復原口径15.0cmの大きさと、内外面共にヨコナデ調整されるが、胴部内面はへら削りで器壁の厚みを減じている。5は復原口径18.0cmの大きさの口縁部が直線的に開き、端部が肥厚気味の壺の口縁部破片で、内面の頸部以下はへら削りされる。

6は口径13.4cm、器高12.1cm、胴最大径13.4cmの大きさの鉢形に

近い壺で、丸底扁球形の体部に緩やかに外反する口縁部が付く。7は直線的に開く口縁部破片で、端部は薄めに括まれる。復原口径14.0cmの大きさと、内外面共に胴部はへら削りされ、肩部はハケ目調整され、口縁部内外面はヨコナデ調整される。10は球形の胴部から頸部があまり括れずに口縁部が短く立ち上がる壺で、復原口径15.9cm、器高18.0cm、胴最大径18.6cmの大き



第177図 大溝出土土器実測図.2 (1/3)



第178图 大湾出土土器实测图.3 (1/3)

さ。内外面共に磨滅が進むものの胴部外面にハケ目が残る。11は口縁部が緩やかに外反する甕で、端部は肥厚気味にまとまる。胴部は内外面共にハケ目調整される。

16~19は、なで肩で口縁部は外反するが、端部が上方に摘み上げられるタイプの甕で、胴下半は丸い。胴部は内面をへら削りされて器壁は薄く、内面の頸部までへら削りが及ぶ。口縁部はヨコナデ調整、胴部外面はハケ目調整されるが、肩部のハケ目は横方向を向く。胎土に細砂粒・赤褐色粒・雲母・角閃石を含み、灰黄褐色ないし淡橙褐色に焼成される。

小形丸底甕(8・9) 球形らしい胴部から内湾気味に口縁部が立ち上がる器形で、8は口縁端部と胴下半を失うが、9は復原口径8.0cm、胴最大径10.3cmの大きさに胴下半を欠く。8・9共に器面は磨滅するが、ヨコナでないしへら磨きで調整されたものらしく、器壁は薄い。

鉢(12) 扁平な半球形の体部からそのまま内湾気味に口縁部が開く器形の鉢で、復原口径15.0cm、器高5.0cm強、胴部径12.2cmの大きさ。内外面共に横方向のハケ目が残る。

高杯(13~15) いずれも杯部破片で、口縁部が緩やかに外反する。13では復原口径17.8cm、杯部高4.3cmの大きさに、杯底部から口縁部への屈曲部は段をなし、口縁部の器壁は薄い。15は復原口径23.0cmの大きさに、口縁部の器壁は厚めである。器面はヨコナでないしへら磨き調整されるものとみられるが、磨滅が進む。胎土に細砂粒・角閃石・赤褐色粒・雲母を含み、橙褐色などに焼成されている。

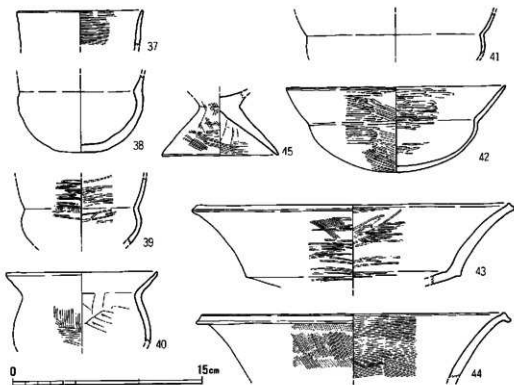
下層出土土器

鉢形土器(20) 復原口径12.9cm、胴部径13.2cmの大きさに、口頸部は緩く外湾する。胴屈曲部は段をなすが、胴部以下を失う。胎土に砂粒・角閃石・雲母を含み、暗茶褐色に焼成される。縄文後期末頃の土器であろう。

甕(21~24) 21・22は直線的に開く口縁部破片で、端部は面が凹み加減に整えられる。21は復原口径18.0cmの大きさに、22は21に比して口縁部が短く、復原口径15.0cmの大きさに。胎土に砂粒・角閃石・雲母・赤褐色粒を含み、淡黄褐色に焼成される。23は緩やかながらも大きく反りながら開く口縁部破片で、端部外面は拡張気味に面をなし、へらによる細い刻み目が刺まれる。復原口径17.0cmの大きさに、胎土に砂粒・角閃石を含み、暗黄褐色に焼成される。24は頸部破片で内外面共にハケ目調整される。

甕(25~36・40) 36の胴部上半の破片は器壁がやや厚めで、外面には叩き目が明瞭に残り、内面には粗いハケ目が残る。胎土に細砂粒・雲母を含み、黄褐色に焼成されるが、外面の一部は黒い。

25~32は口縁部が内湾気味に開き端部が上方に摘み上げたような形状になる甕で、26・27では胴部内面をへら削りして器壁が薄く、なで肩をなし、26・27は復原口径が16.4cmと17.0cmの大きさ。26では外面にハケ目がみられる。口径復原では28が14.0cm、30は17.0cm、31は18.0cmの大きさ。口縁端部の内側を摘んで屈曲させたような形状の例が多い。これらはいずれも胎土



第179図 大溝出土土器実測図.4 (1/3)

に細砂粒・雲母・角閃石・赤褐色粒などを含み、灰黄褐色などの色調に焼成されている。33～35は同様な甕の頸部から胴部にかけての破片で、胴部内面をへら削り調整して、器壁を薄くしている。胎土、焼成もこれらの土器とほぼ同様である。

40は復原口径12.0cm、胴最大径10.9cmの大きさの小形甕で、口縁部はやや直線的に開き、端部は上方に揃まれて薄くなる。胴部外面はハケ目調整されるが、横方向のハケ目は胴最大径の位置付近に施され、内面のへら削りは頸部まで、やや雑に削られる。胎土に細砂粒・雲母・角閃石・赤褐色粒を含み、淡灰黄褐色に焼成される。

小形丸底壺 (37～39) 37は復原口径10.0cmの大きさの口縁部破片で、器壁は薄め。外面がヨコナデ、内面がハケ目で調整される。38は口縁部を欠くが、扁平球形の体部で、胴最大径9.9cm、体部高4.8cmの大きさ。内外面共にナデ調整され、器壁はやや厚めである。胎土に細砂粒・雲母・赤褐色粒・角閃石を含み、黄褐色ないし灰黄褐色に焼成される。

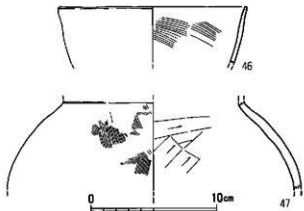
39は口縁部と底部を欠くが、胴最大径9.4cmの大きさで、器壁が薄く、内外面共にへら磨き調整される。雲母・角閃石を含むものの精良な胎土で、淡黄褐色に焼成される。

鉢 (41・42) 41は口縁部と底部を欠くが、器壁の薄い鉢で、口縁部側は内湾気味に立ち上

がる。42は復原口径17.5cm、器高6.9cm、胴最大径13.3cmの大きさの鉢で、扁平丸底の体部から内湾気味ながらも直線的に口縁部が開く。内外面共にへら磨き調整され、器壁は薄い。胎土に細砂粒・雲母・赤褐色粒・角閃石を含み、黄橙褐色に焼成される。

高杯(43~45) 43・44は共に復原口径25.0cm前後で、複合口縁壺の口縁部に似る。杯底部からの屈折が明瞭で、口縁部が緩く外

反しながら開き、端部が積み上げられたように突出する。43は内外面共にへら磨き調整、44は内外面共にハケ目調整される。胎土に細砂粒・雲母・赤褐色粒を含み、淡茶褐色に焼成される。45は脚部で、裾へは直線的に開く。裾部外径9.3cm、脚部高4.0cmの大きさ。杯底部はナデ調整されるが、脚部内外面は共にハケ目調整される。胎土に細砂粒・雲母・角閃石を含み、淡黄褐色に焼成される。



第180図 大溝支流A出土土器実測図(1/3)

大溝支流A(図版113、第173・175図)

大溝流路の北西部に続く支流で、 $X = +38209$ 、 $Y = -23240$ 地点から $X = +38215$ 、 $Y = -23245$ 地点に流れ、長さ8.0m、上縁での幅2.0~2.5m、深さ0.6m以下の規模。

大溝に比してかなり浅く、堆積土に灰青色ないし暗青灰色のヘドロ状粘性土はみられず、暗茶褐色ないし暗灰茶色の粘性土が主である。遺物は若干出土する。肩に近い部分などで土器片などが出土した。

出土土器(第180図)

壺? (46) 器壁の薄い口縁部破片で、僅かに外に開いて立ち上がり、復原口径15.0cmの大きさ。外面はヨコナデ、内面はハケ目調整される。胎土に細砂粒・雲母・角閃石・赤褐色粒を含み、灰黄褐色に焼成される。

壺 (47) 口縁部と胴下半部を失うが、倒卵形の体部で、胴部内面をへら削り調整して、器壁を薄くして、外面にハケ目を施す。胎土に細砂粒・雲母・赤褐色粒を含み、灰黄褐色に焼成される。

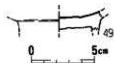
木製品

杭 直径5から6cmの丸木枝の先端部のみを削って尖らせたもので、長さ25cm前後に残って

いたが、保管中に乾燥して崩壊したため、図示しえない。

大溝支流B（図版113、第173・175図）

大溝流路の南東部に続く支流で、 $X = +38208$ 、 $Y = -23220$ 地点から $X = +38209$ 、 $Y = -23227$ 地点に弧を描くように流れ、長さ8.0m、上縁での幅2.0m前後、深さ0.4m前後の規模だが、東側端は調査区外に潜って分からない。なお、底面では大溝との大きな高低差はない。



第181図 包含層等出土
遺物実測図.1 (1/3)

大溝支流C（図版113、第173図）

下流の左岸にもう一つの小さな支流あり、下層に暗灰色粘性土が5～10cm厚さに堆積し、茶褐色ないし暗茶灰褐色土が乗る。大溝底面より浅い位置に底面がある。

包含層等出土の土器（図版115、第181・182図）

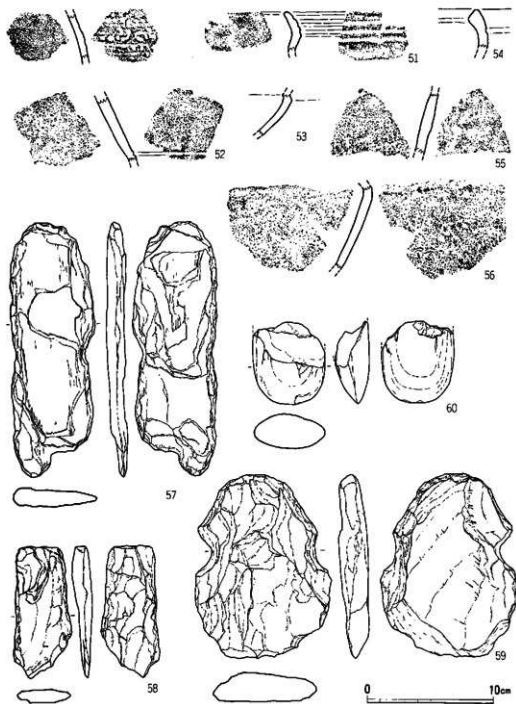
土器器碗（48） 底部破片で、高台部外径は復原値で6.5cm前後。外面はヨコナデ調整され、淡黄褐色に焼成されるが、内面はへら磨き調整されて黒く燻される。調査区東端部に設定した試掘トレンチ部分で、遺構検出面よりも若干浮いて出土した。

陶磁器底部（49） 高台部分の破片で、外面は露胎で白黄色を呈する。内底面は白黄色の釉が掛かり、貫入がみられる。遺構検出面の上の堆積層から出土した。

縄文土器（50～56） 偶数例は大溝堆積土から、奇数例は大溝下層から出土した資料である。50は平行沈線で区画された文様帯にコC字形文様と刺突列点を施すもので、鉢形土器の胴部文様帯を構成する。西平式系土器である。51は外反した口縁部が端部で内湾して、口縁部文様帯に3条の平行沈線が施される破片で、内外面共にヨコナデ調整される。胎土に砂粒・角閃石・雲母を含み、暗黄褐色に焼成される。後期後半～晩期初頃のもの。52は胴部界線に細めの沈線が巡らされる破片で、後期末～晩期初頃のもの。53は黒色磨研土器の浅鉢で、胴部から口縁部への移行は短く屈折する。胎土に細砂粒を含み、暗茶褐色に焼成される。晩期前半頃のもの。54は内湾する口縁部破片で、端部がやや肥厚する。外面に1条の沈線がみられる。胎土に砂粒・角閃石・雲母を含み、暗黄褐色に焼成される。後期後半～晩期初頃のもの。55・56は内外面共にナデ調整される胴部破片で、胎土に砂粒・雲母を含み、灰茶褐色に焼成される。晩期のものであろう。

出土土器（図版114-2、第182・183図）

打製石斧（57～59） いずれも緑泥片岩を素材にした扁平打製石斧で、57は人溝上部の堆積土、58は大溝下層から出土したが、59は表土剥ぎの際の排土に混じって発見された。



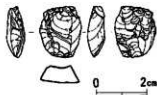
第182图 包含層等出土遺物実測図.2 (1/3)

57は完形の短冊形を呈する打製石斧だが、両側縁に小さな抉りがみられ、刃部は刃こぼれ後もそのまま使用されたようで磨耗する。長さ20.2cm、幅6.7cm、厚さ1.5cmの大きさで、抉りの間は5.5cmの距離がある。重量は285.4gを測る。58は刃部側を欠損する撥形の打製石斧で、残存長10.5cm、幅4.5cm、厚さ1.4cmの大きさ。重量は84.0gを測る。

59は製作途中のものであろうか。両側に抉りがみられ、紐掛けが可能で調整剝離が少ないことから、打欠石錘の可能性もあるがバランスにやや偏りを生じる。長さ14.6cm、幅10.8cm、厚さ2.3cmの大きさ。抉りの間は8.3cmの距離がある。重量は496.1gを測る。

磨製石斧(60) 大溝の底面から出土した、蛇紋岩製磨製石斧の刃部破片で、両刃に似るが僅かに偏刃をなし、両側縁に狭いが直線的で平坦な面をもつ。残存長6.5cm、幅5.7cm、厚さ2.7cm、重量134.9gを測る。

搔 器(61) 伊万里湾周辺産の黒色黒曜石残核を用いた搔器で、両端部を刃部にする。長さ20.0mm、幅16.5mm、厚さ7.0mmの大きさ。重量2.4gを測る。支流Aから出土した。



第183図 包含層等出土遺物
実測図.3 (1/3)

3 稲崎B遺跡の調査

調査区は、巨瀬川支流の小河川が南側を流れて、西方で路線幅を横断しているが、比較的高い水田面に設定した。間に水路を挟んで南北に分かれるが、東西約24m距離の部分进行调查範囲にしている。

調査区の面積は実質530㎡である。北側調査区では、東西方向に走る小溝1と、これと交差して南北方向に走る小溝2を発見した。南側調査区では、小溝2の続きと、南西部で柱穴様ビット群と、隅で住居跡状落ち込みを発見した。

住居跡状遺構 (図版117-2、第185図)

東西2.5m、南北1.5m分が調査区内に検出されたが、深さは5cm前後と浅い。床面はさほど堅く締まらないが平坦で、北側の周壁に近接して直径45cm、深さ10cmほどの柱穴様ビットが掘り込まれる。なお、ビットと周壁の間の床面に焼土が検出された。

出土遺物 須恵器杯蓋の一部とみられる小破片や土師器小片が出土したものの、図示に耐えない。

小溝1 (第184・186図)

東西方向に流路をとる人為的掘削による溝状遺構で、約24mの距離を確認したが、東部でY字状に枝分かれする。水田床土直下の遺構遺構検出面から掘り込まれ、幅25cm前後、深さ20cm前後を有するが、側壁はやや直に立ち上がる。

出土遺物

(図版118-2、第187図)

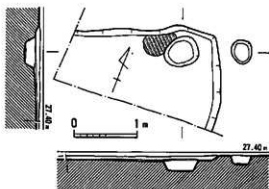
須恵器壺(1) 外面を平行叩きの後カキ目調整して、内面に板目の当て具痕が残る破片で、器壁が1.2cmと厚めである。胎土に砂粒を殆ど含まず、暗青灰色に強く焼成されている。



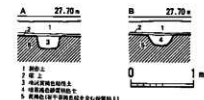
第184図 稲崎B遺跡遺構配置図 (1/300)

小溝2 (第184・186図)

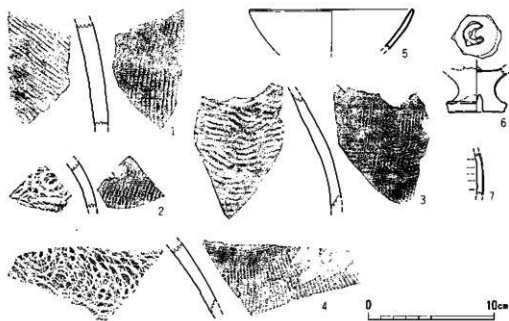
小溝1よりも先行する小溝で、南北方向に約25mの距離を確認した。人為的掘削による溝状遺構で、主軸方向N5°Wを向くが南部はやや蛇行する。水田床土直下の遺構検出面から掘り込まれ、小溝に比して側壁は緩やかな傾斜をもつ。堆積土は



第185図 住居跡状遺構実測図 (1/60)



第186図 小溝土層実測図 (1/60)



第187図 出土土器実測図 (1/3)

やや暗く砂っばいが、遺物の出土は全くみられなかった。

柱穴様ビット群 (図版117-2、第184図)

直径20~40cm、深さ10~30cm程度の残り方で、群をなすが、獨立柱建物跡を構成するようなビットは確認されなかった。

出土遺物 (図版118-2、第187図)

須恵器壺 (2~4) いずれも住居跡状落ち込みと小溝2の間のビットから出土した破片資料である。内面には同心円当て具痕が残るが、4の例は痕跡が明瞭である。外面は平行叩きの後にカキ目調整されるが、3の例は板ナデに近い痕跡となっている。4の例は肩部破片であろう。胎土に砂粒を殆ど含まず、淡青灰色に堅く焼成されている。

遺構検出面出土遺物 (図版118-2、第187図)

陶磁器 (5~7) 5は復原口径13.0cmの大きさの碗で、底部を失う。口縁部は内湾気味に開き端部は薄く丸みをもつ。精良な乳白色の胎で、黄灰色の灰釉が掛かる。6は口縁部を失うが、残存高3.5cm、裾部径4.8cmの大きさの燭台で、内底面の台部も欠損する。脚部は括れて、裾端は斜めに面をとり、糸切りの外底面中央には深さ1.4cmの軸芯らしい穴が残る。砂粒を

含まない精良な胎土で、脚幅の露胎部は淡褐色を呈すが、以外の部分には黒褐色の鉄釉が掛かる。7は焼き締めめの壺の胴部破片らしい。灰白色の胎で、黒色の鉄釉が掛かる。

4 おわりに

稲崎A遺跡では、大溝と大溝支流が主な遺構で、出土土器の甕の特徴などから、上層は古墳時代前期の布留式の範疇に含まれ、下層出土土器は若干古式の様相を呈し、庄内式新段階ないし布留式の古段階に相当する。支流出土土器もこの時期幅に収まることから、大溝および支流は、古墳時代前期の時期の自然流路とみられる。自然流路ではあるが、土器類がさほど磨滅せずに埋没していることから、該期の集落が至近の位置にあったものと想定される。浮羽バイパス関係や圃場整備事業で、該期の集落遺跡が数多く調査されていて、吉井町、浮羽町、田主丸町の平野部一帯に点々と集落が存在していたことになろう。この平野部に布留式段階以降の前方後円墳が存在することを勘案すれば、前方後円墳を築造させる勢力を培い、支えた集団が付近に居住していたとみても大きな誤りはないのであろう。

縄文時代の遺物は後期後半から晩期初頃の資料が含まれているが、遺構は分からない。仁衛門畑遺跡や塚堂遺跡などでも同様の時期の資料が発見されていて、平野部南の水繩山脈の裾部の緩傾斜部でも該期の遺跡が存在している。稲崎A遺跡よりも地形的に安定した立地の遺跡が至近の位置に存在することも考慮しなければならない。

稲崎B遺跡では、A遺跡に比して成果は顕著でないが、古墳時代後期頃の生活関連遺構の存在を知ることができる。また、近世の明治期以降の遺物の存在から、明治期以降に水田の改修を受けた可能性があろう。

鷹取五反田遺跡 I

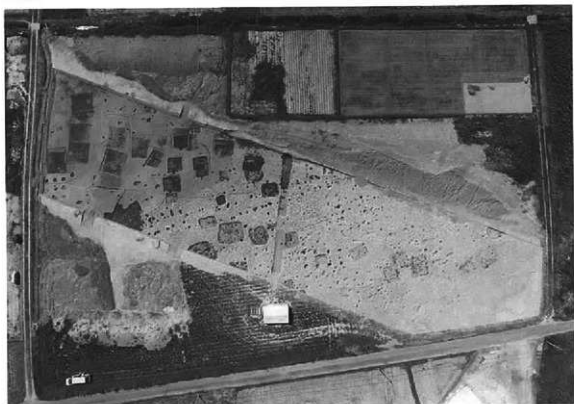
図 版



(1) 鷹取五反田遺跡第1次調査全景. 1 (北から 1990)



(2) 鷹取五反田遺跡第1次調査全景. 2 (北西から 1990)



(1) 鷹取五反田遺跡第1次調査全景、3 (上が南 1990)



(2) 鷹取五反田遺跡第1次調査全景、4 (上が南 1990)



(1) 鷹取五反田遺跡第3次調査全景. 1 (北から 1994)



(2) 鷹取五反田遺跡第3次調査全景. 2 (北西から 1994)



(1) 鷹取五反田遺跡第3次調査全景. 3 (上が南 1994)



(2) 鷹取五反田遺跡第3次調査全景. 4 (上が南 1994)



(1) 1号竪穴住居跡（北西から）



(2) 2号竪穴住居跡（北東から）



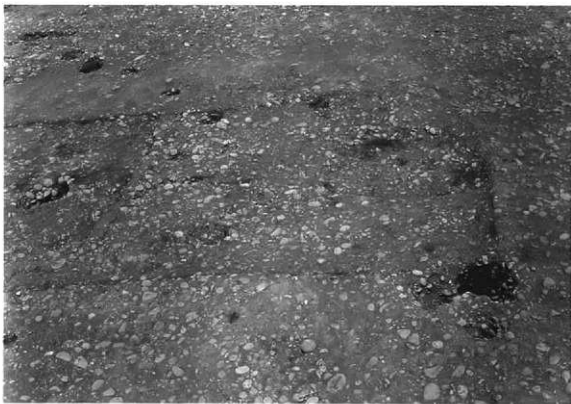
(1) 3号竪穴住居跡 (北から)



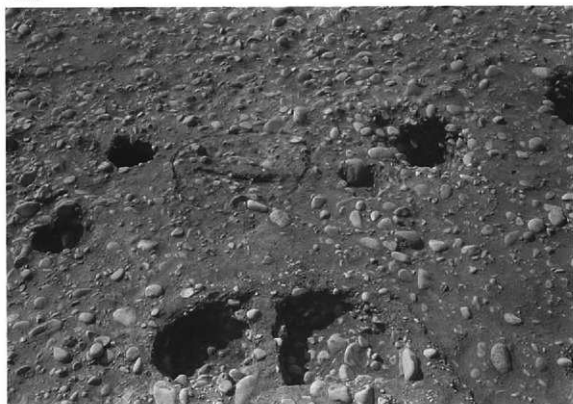
(2) 4号竪穴住居跡 (北東から)



(1) 11号竪穴住居跡および3号土坑. 1 (西から)



(2) 11号竪穴住居跡および3号土坑. 2 (南東から)



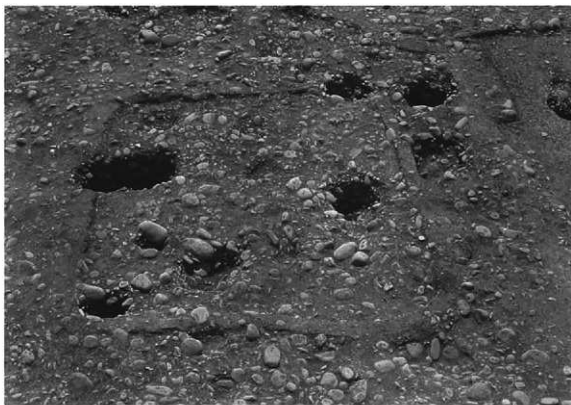
(1) 12号壑穴住居跡 (南東から)



(2) 13号壑穴住居跡 (北東から)



(1) 1～15号竪穴住居跡（北東から）



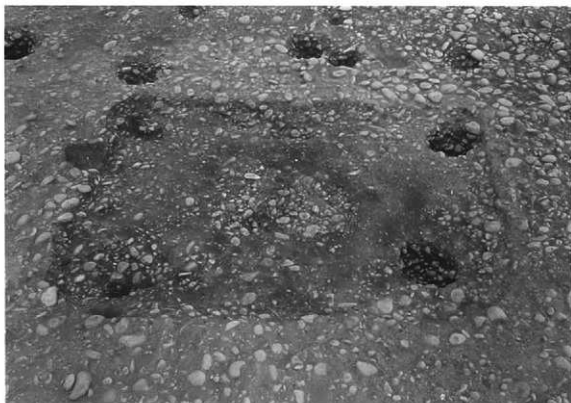
(2) 15号竪穴住居跡（東から）



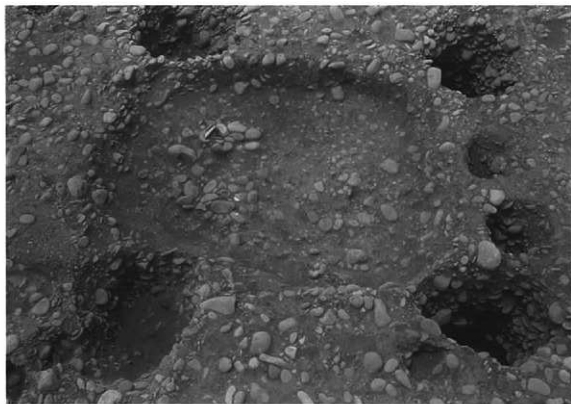
(1) 16号竪穴住居跡 (北から)



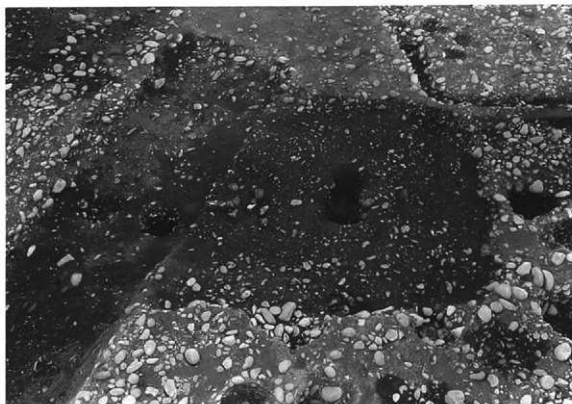
(2) 17号竪穴住居跡 (北から)



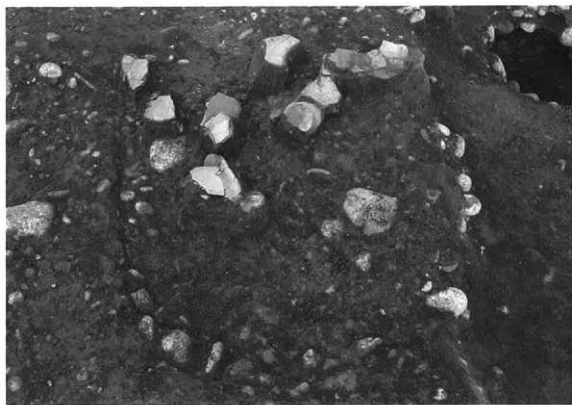
(1) 18号竪穴住居跡（北西から）



(2) 19号竪穴住居跡（南から）



(1) 21号竪穴住居跡（北から）



(2) 21号竪穴住居跡（南西から）



(1) 23号竪穴住居跡（東から）



(2) 23号竪穴住居跡屋内土坑（北から）



(1) 28号竪穴住居跡 (南から)



(2) 28号竪穴住居跡遺物出土状態, 1 (北から)



(1) 28号竖穴住居跡遺物出土状態. 2 (南から)



(2) 28号竖穴住居跡遺物出土状態. 3 (南西から)



(1) 29号竪穴住居跡 (南から)



(2) 29号竪穴住居跡土層断面 (南西から)



(1) 29号堅穴住居跡遺物出土状態. 1 (北東から)



(2) 29号堅穴住居跡遺物出土状態. 2 (南から)



(1) 30号竪穴住居跡 (南から)



(2) 32号竪穴住居跡 (南から)



(1) 34・35号竪穴住居跡および1号甕棺墓（東から）



(2) 35号竪穴住居跡および1号甕棺墓（東から）



(1) 62号竪穴住居跡（北から）



(2) 63号竪穴住居跡（北から）



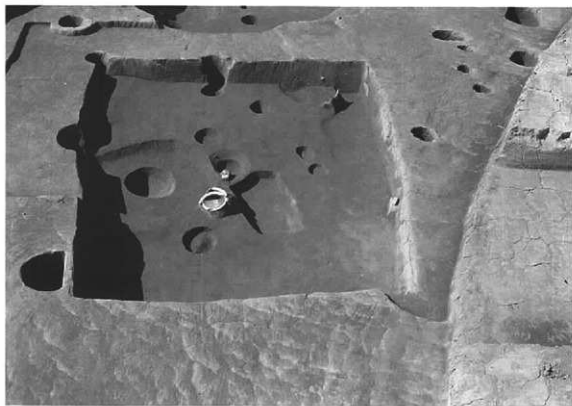
(1) 64号竖穴住居跡 (東から)



(2) 79号竖穴住居跡 (北から)



(1) 82号竪穴住居跡 (南から)



(2) 83号竪穴住居跡 (西から)



(1) 83・84号竪穴住居跡（西から）



(2) 83号竪穴住居跡遺物出土状態（南西から）



(1) 84号竪穴住居跡 (南から)



(2) 84号竪穴住居跡遺物出土状態 (南から)



(1) 91号竪穴住居跡 (南西から)



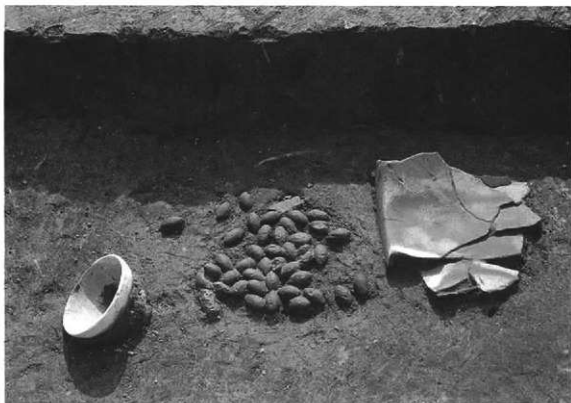
(2) 91号竪穴住居炉跡 (北から)



(1) 92~94号竪穴住居跡 (東から)



(2) 92号竪穴住居跡遺物出土状態, 1 (西から)



(1) 92号竪穴住居跡遺物出土状態. 2 (南から)



(2) 92号竪穴住居跡遺物出土状態. 3 (西から)



(1) 96号堅穴住居跡 (西から)



(2) 96号堅穴住居跡遺物出土状態 (西から)



(1) 102号竪穴住居跡（東から）



(2) 103号竪穴住居跡（南西から）



(1) 106号壑穴住居跡 (北西から)



(2) 107号壑穴住居跡 (北東から)



(1) 113号竪穴住居跡（南から）



(2) 113号竪穴住居跡完掘状態（南から）



(1) 113号竪穴住居炉跡 (西から)



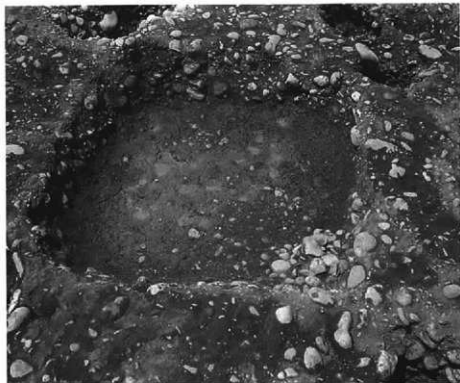
(2) 115号竪穴住居炉跡 (南から)



(1) 115号竪穴住居跡（南から）



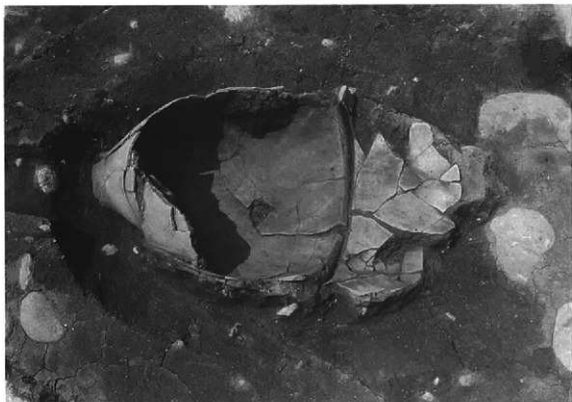
(2) 115号竪穴住居跡完掘状態（南から）



(1) 方形堅穴状遺構 (南から)



(2) 3号掘立柱建物跡 (南西から)



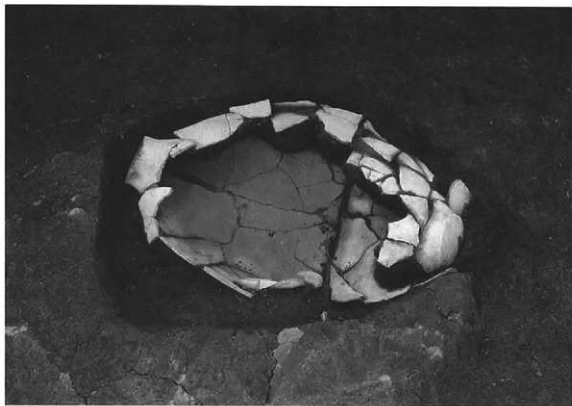
(1) 1号麦棺墓 (南から)



(2) 2号麦棺墓 (南から)



(1) 3~6号甕棺墓 (東から)



(2) 3号甕棺墓 (南東から)



(1) 4号甕棺墓（北西から）



(2) 5号甕棺墓（北から）



(1) 5号甕棺墓人骨出土状態 (北から)



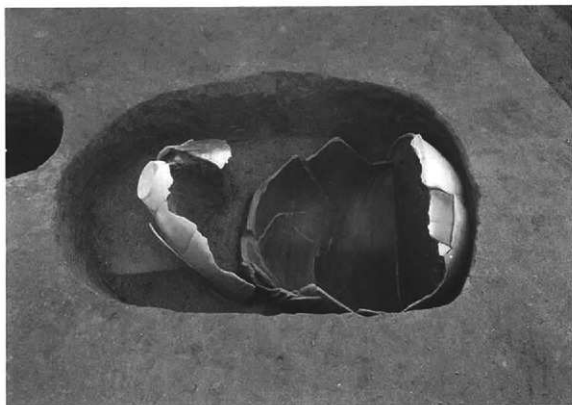
(2) 6号甕棺墓. 1 (北から)



(1) 6号瓮棺墓. 2 (西から)



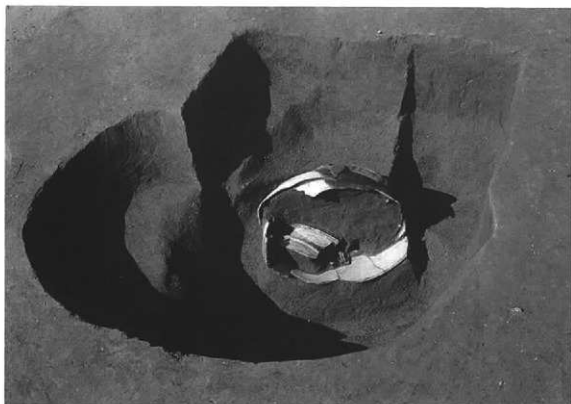
(2) 6号瓮棺墓. 3 (西から)



(1) 7号甕棺墓（北東から）



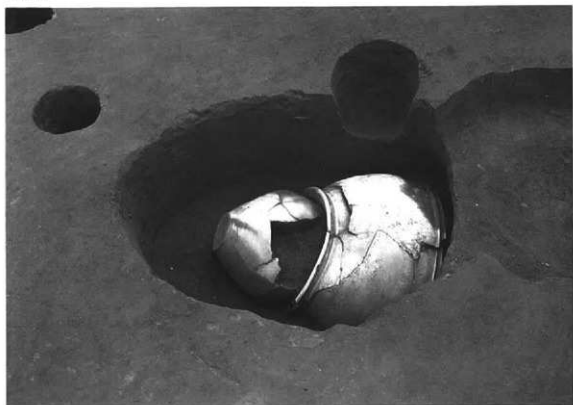
(2) 8A号甕棺墓標石（西から）



(1) 8A号墓棺墓 (東から)



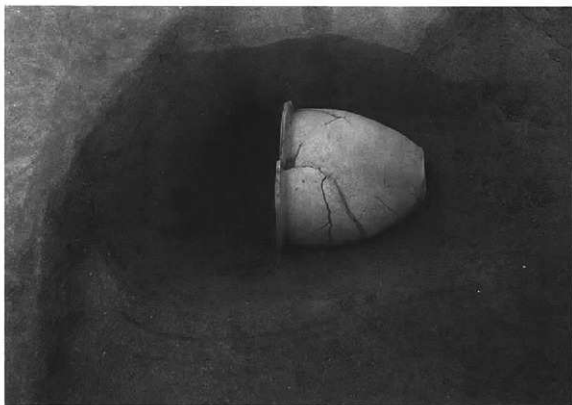
(2) 8B号墓棺墓 (南から)



(1) 9号甕棺墓 (北から)



(2) 10号甕棺墓 (北から)



(1) 11号墓棺墓 (東から)



(2) 12号墓棺墓 (南から)



(1) 13号妻棺墓 (南から)



(2) 14~16号妻棺墓 (北西から)



(1) 14号甕棺墓 (北西から)



(2) 15・16号甕棺墓 (北西から)



(1) 17号甕棺墓 (南から)



(2) 18号甕棺墓 (北東から)



(1) 19号甕棺墓 (南から)



(2) 20号甕棺墓 (南西から)



(1) 21号壙棺墓. 1 (東から)



(2) 21号壙棺墓. 2 (北から)



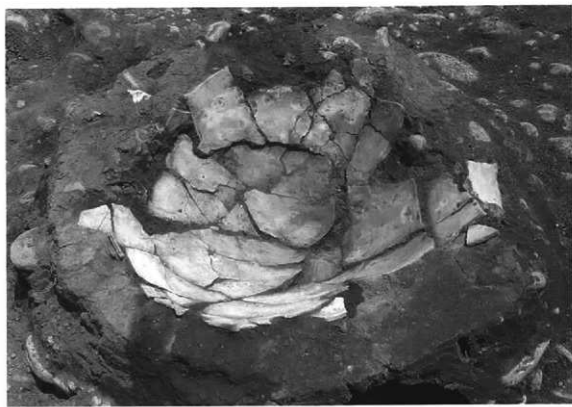
(1) 21号甕棺墓. 3 (北西から)



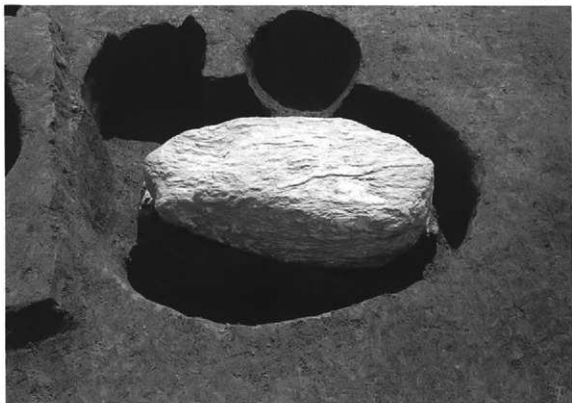
(2) 21号甕棺墓人骨出土状態 (東から)



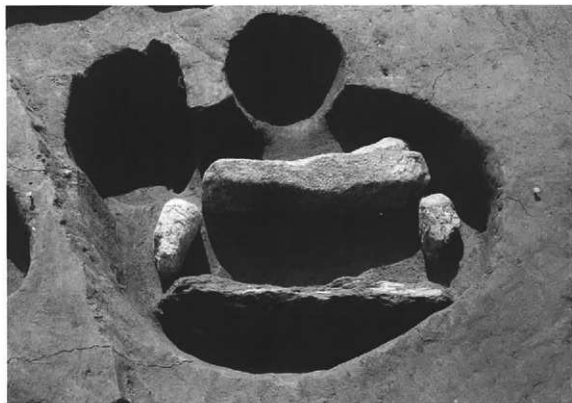
(1) 22号壺棺墓 (西から)



(2) 23号壺棺墓 (南西から)



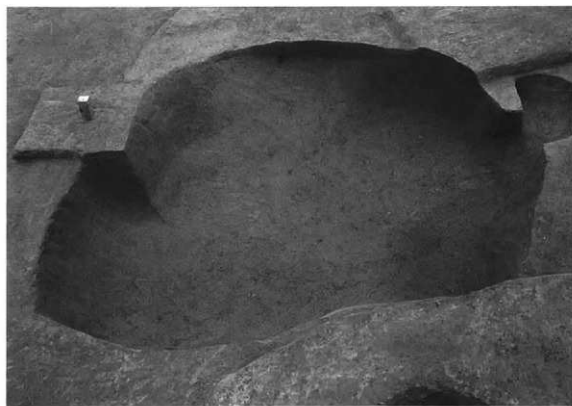
(1) 1号石棺墓. 1 (南から)



(2) 1号石棺墓. 2 (南から)



(1) 1号貯蔵穴 (北から)



(2) 2号貯蔵穴 (北から)



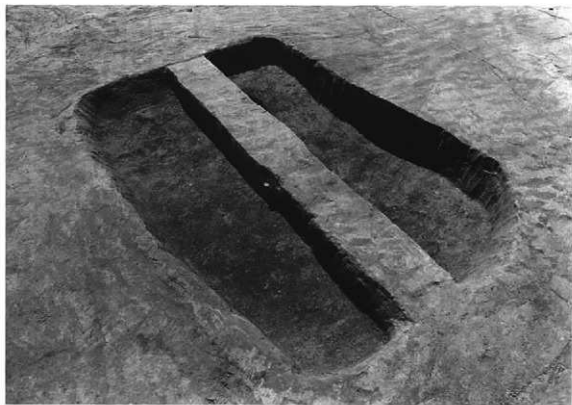
(1) 3号貯蔵穴（北東から）



(2) 4号貯蔵穴（北東から）



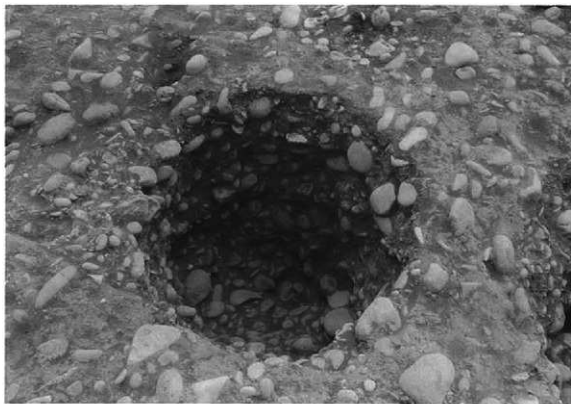
(1) 5号貯蔵穴土層断面 (南から)



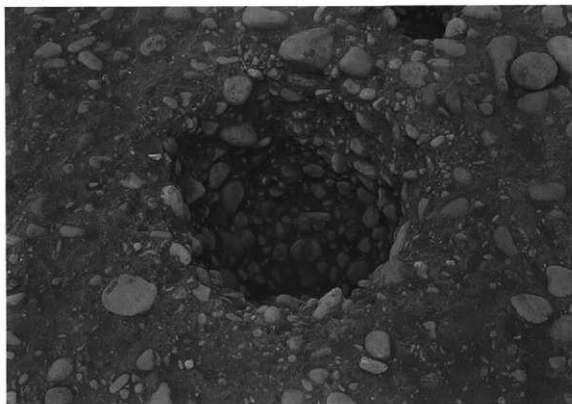
(2) 5号貯蔵穴. 1 (北西から)



(1) 5号貯蔵穴. 2 (南東から)



(2) 1号土坑 (北から)



(1) 2号土坑 (南から)



(2) 5号土坑 (南から)



(1) 6号土坑 (北東から)



(2) 8号土坑 (北から)



(1) 9号土坑 (西から)



(2) 17号土坑土層断面 (西から)



(1) 18~20号土坑 (北西から)



(2) 23号土坑 (北から)



(1) 24号土坑(北から)



(2) 24号土坑遺物出土状態(東から)



(1) 25号土坑 (南東から)



(2) 26号土坑 (北西から)



(1) 27号土坑（北東から）



(2) 28号土坑および20号甕棺墓. 1（東から）



(1) 28号土坑および20号甕棺墓, 2 (南から)



(2) 30号土坑 (南から)



(1) 31号土坑土層断面(南から)



(2) 31号土坑(南から)



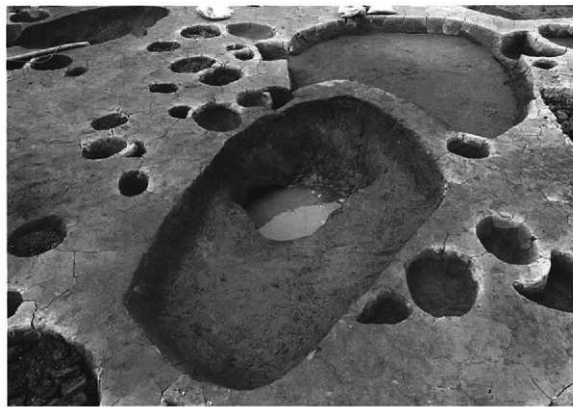
(1) 33号土坑 (南東から)



(2) 34~37号土坑 (南から)



(1) 34号土坑土層断面 (西から)



(2) 34号土坑 (南東から)



(1) 35号土坑土層断面 (南西から)



(2) 35号土坑 (南西から)



(1) 36号土坑土層断面 (北西から)



(2) 36号土坑 (北西から)



(1) 37号土坑土層断面 (北西から)



(2) 37号土坑 (北西から)



(1) 38号土坑土層断面 (南東から)



(2) 38号土坑 (北から)



(1) 39号土坑 (西から)



(2) 40号土坑 (南から)



(1) 41号土坑. 1 (西から)



(2) 41号土坑. 2 (西から)



(1) 41号土坑. 3 (北西から)



(2) 41号土坑. 4 (北西から)



(1) 1~4号円形周溝状遺構（北から）



(2) 1号円形周溝状遺構（西から）



(1) 2号円形周溝状遺構北半分, 1 (北から)



(2) 2号円形周溝状遺構北半分, 2 (南から)



(1) 2号円形周溝状遺構南半分 (北から)



(2) 2号円形周溝状遺構土層断面 (東から)



(1) 3号円形周溝状遺跡 (南西から)



(2) 3号円形周溝状遺構および17号壘棺墓 (南西から)



(1) 5号円形周溝状遺構. 1 (北から)



(2) 5号円形周溝状遺構. 2 (南東から)







住28-19



住28-33



住28-23



住28-35



住28-29



住29-4



住28-30



住29-8



住28-31



住29-11



住28-32



住29-12



住29-16



住29-17



住29-14



住30-2



住30-3



住30-6



住30-8



住30-9



住30-10



住30-12



住30-13



住30-15



住30-17



住30-18



住30-25



住30-28



住30-34



住30-37



住30-38



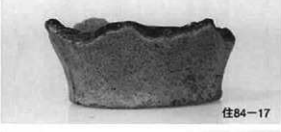
住30-40



住30-42



住30-43





住91-4



住93-5



住92-4



住93-7



住92-6



住94-1



住92-13



住94-4



住92-16



住96-5



住99-1



住102-6



住102-1



住102-9



住102-2



住107-1



住102-4



住115-4



墓棺1



墓棺3



墓棺2



墓棺4



甕棺. 2

甕棺6



甕棺7



甕棺BA



甕棺BB



甕棺9



甕棺10



墓棺11



墓棺12



墓棺14



墓棺15



墓棺13



墓棺16



墓棺. 5



墓棺17

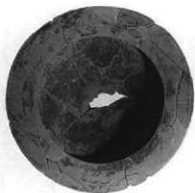
墓棺18



墓棺19



墓棺21



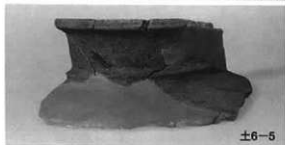
墓棺22



墓棺20



墓棺23



土坑出土土器. I





±18-7



±28-4



±28-1



±29-3



±28-2



±29-6



±28-3



±29-9



±29-10



土33-2



土33-3



土33-7



土33-9



土34-5



土37-1



土38-3



土38-12



土38-14



土40-3



±41-3



±41-44



±41-4



±41-46



±41-5



±41-47



±41-34



±41-48



±41-39



±41-49



±41-51



±41-62



±41-53



±41-63



±41-54



±41-64



±41-59



±41-65



貯5-4



円2-25



円2-20



円2-28



円2-20



円2-29

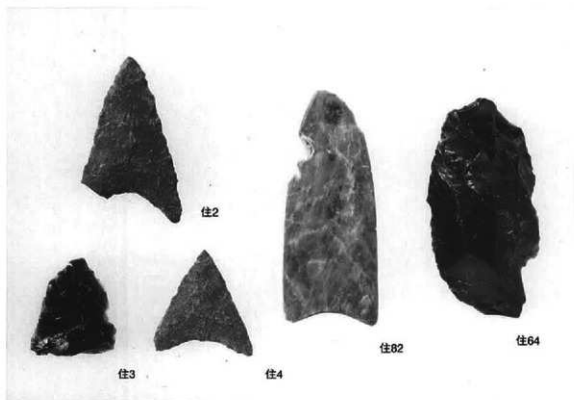


円2-24

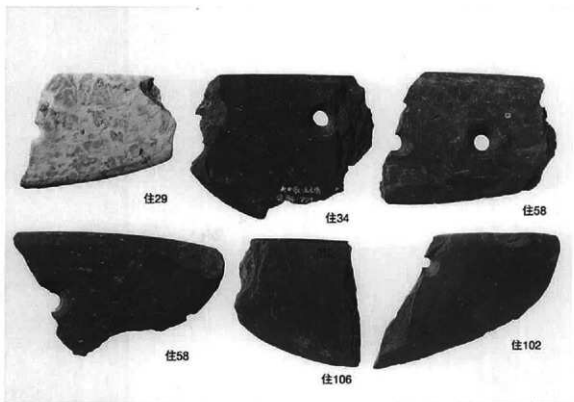


円2-38

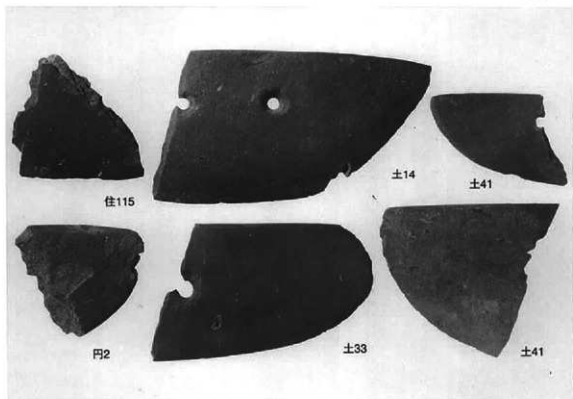
貯蔵穴・円形周溝状遺構出土土器



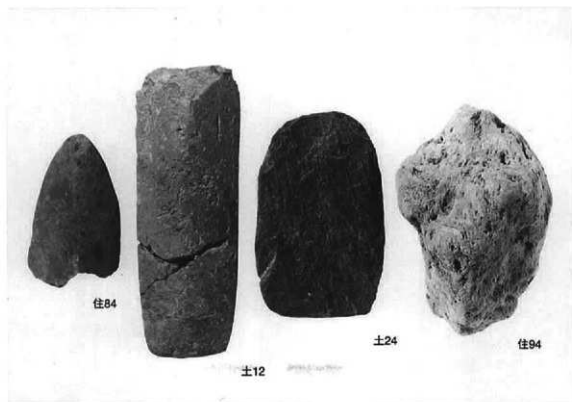
(1) 弥生時代の石器. 1 (石鏃・剥片)



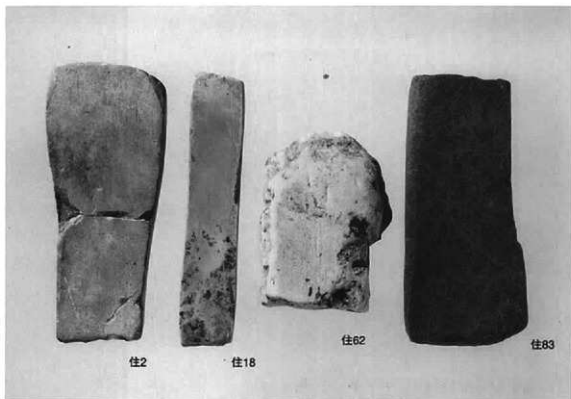
(2) 弥生時代の石器. 2 (石鏃丁)



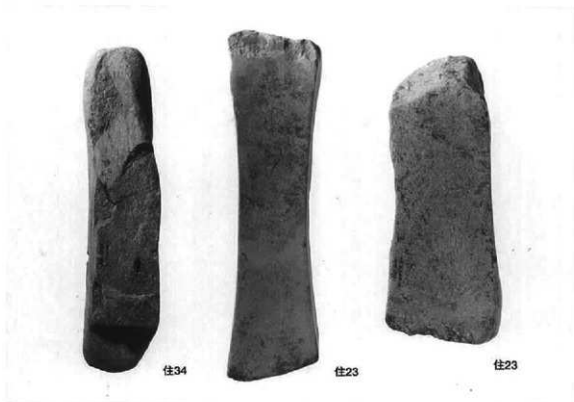
(1) 弥生時代の石器. 3 (石砲丁)



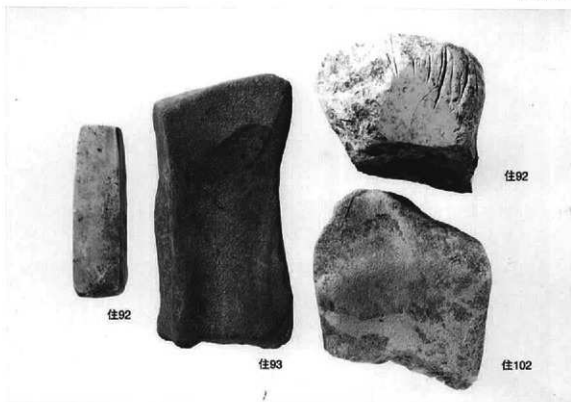
(2) 弥生時代の石器. 4 (石剣・石斧・軽石)



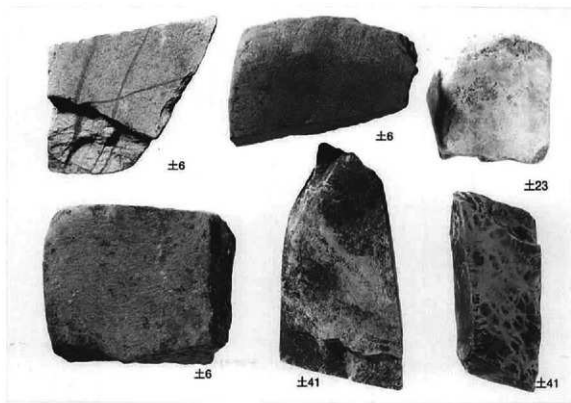
(1) 弥生時代の石器. 5 (砥石)



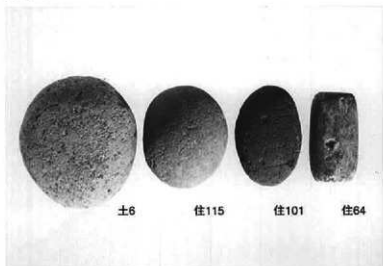
(2) 弥生時代の石器. 6 (砥石)



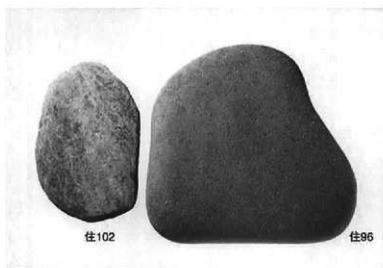
(1) 弥生時代の石器. 7 (砥石)



(2) 弥生時代の石器. 8 (砥石)



(1) 弥生時代の石器. 9 (磨石)



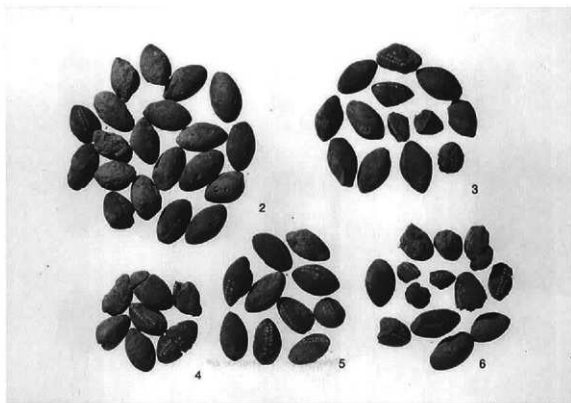
(2) 弥生時代の石器. 10 (台石)



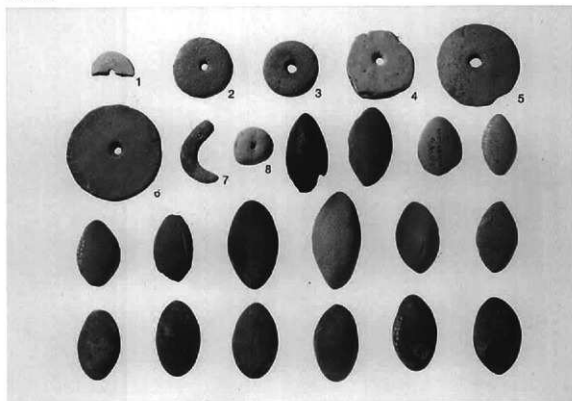
(3) 弥生時代の石器. 11 (台石)



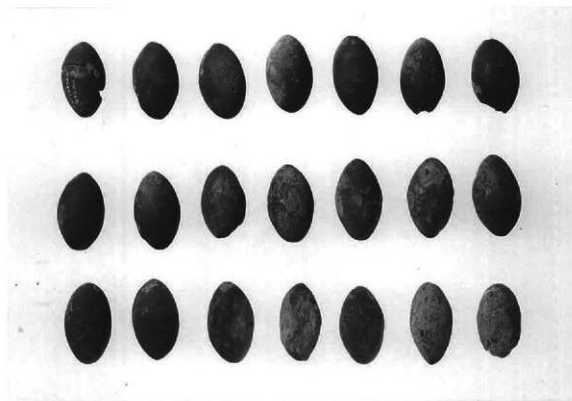
(1) 92号竖穴住居跡出土投弾形土製品群 No.1



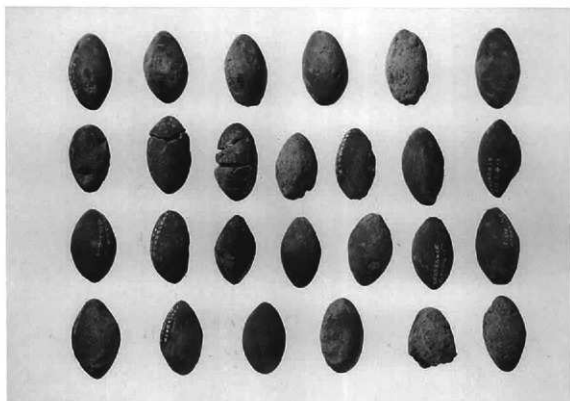
(2) 92号竖穴住居跡出土投弾形土製品群 No.2~6



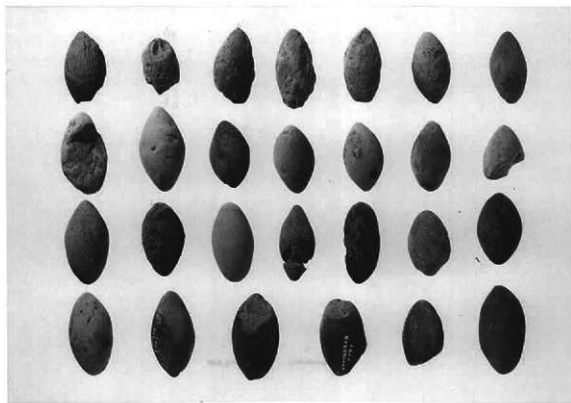
(1) 弥生時代の土製品. 1



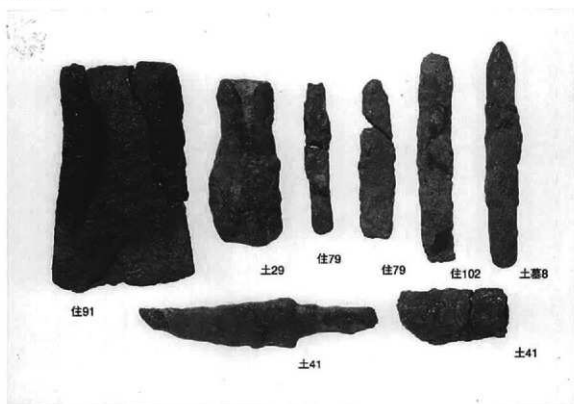
(2) 弥生時代の土製品. 2



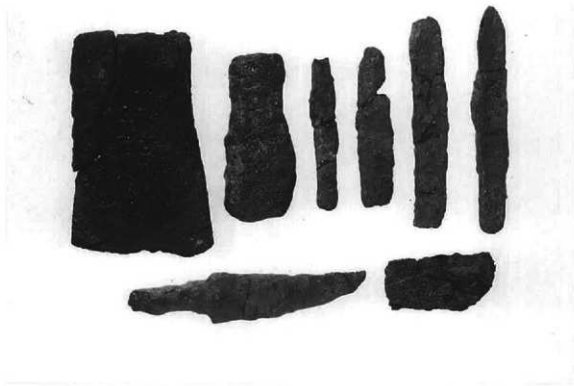
(1) 弥生時代の土製品. 3



(2) 弥生時代の土製品. 4



(1) 弥生時代の鉄器 (表)



(2) 弥生時代の鉄器 (裏)



(1) 発掘調査風景. 1 (調査区西端部 西から 1990)



(2) 発掘調査風景. 2 (調査区東端部 南から 1994)

稻 崎 A · B 遺 跡

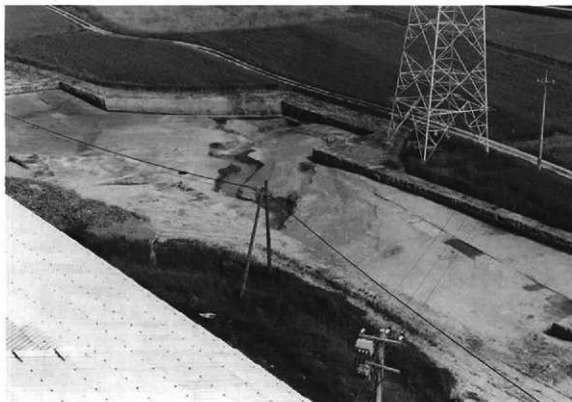
図 版



1. 稲崎A・B遺跡周辺航空写真



2. 稲崎A遺跡全景



1. 稲崎A遺跡近景（北西から）



2. 1号土坑（南西から）



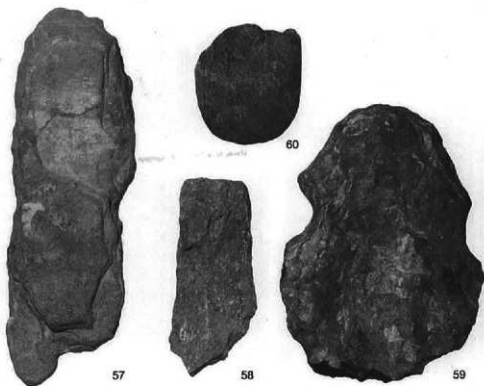
1. 大溝と支流 A・B (南東から)



2. 大溝と支流 A・B (北西から)



1. 大溝堆積狀況



2. 出土石器



6



42



9



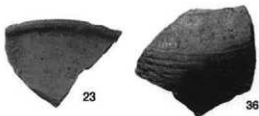
47



10



20



23

36



19



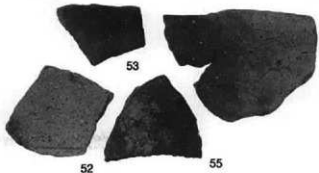
50

51

54



44



53

52

55



1. 稲崎 B 遺跡遠景（東北東から）



2. 稲崎 B 遺跡全景（東から）



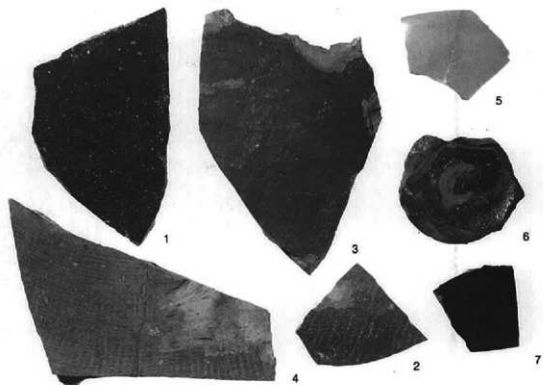
1. 南側調査区（東から）



2. 1号住居跡状遺構と柱穴様ピット群（西から）



1. 小溝 1 (東から)



2. 出土土器

報告書抄録

ふりがな		R E P O R T		I G F B					
書名	鷹取五反田遺跡 I 稲崎 A・B 遺跡								
副書名	福岡県浮羽郡古井町大字鷹取・新治所在遺跡の調査								
巻次	I								
シリーズ名	一般国道210号 浮羽バイパス関係埋蔵文化財調査報告								
シリーズ番号	第9集								
編著者名	水ノ江和同・小池史哲								
編集機関	福岡県教育委員会								
所在地	〒812-8575 福岡県福岡市博多区東公園 7-7 TEL (092)661-1111								
発行年月日	西暦1998年3月31日								
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コ ー ド		北 緯 〇 〇 〇	東 経 〇 〇 〇	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因	
		市町村	遺跡番号						
鷹取五反田 稲崎 A 稲崎 B	福岡県浮羽郡古井町 大字鷹取字五反田 318・328・343番地 および字中ノ坪349 番地外	40481	630120	33°20'50"	130°43'40"	1990.4.15 1990.11.28 1993.10.26 1993.12.10 1994.5.26 1994.10.26	7,420㎡	道路 (一般国 道210号 浮羽バイ パス建設 に伴う事 前調査)	
	福岡県浮羽郡古井町 大字新治字塚本	40481	630132	33°22'39"	130°45'00"	1987.4.18			1,300㎡
	字高畑	40481	630133	33°22'39"	130°44'48"	1987.5.28			530㎡
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺跡		主な遺物		特記事項		
鷹取五反田	集落	弥生中期後半	竪穴住居跡	47軒	弥生土器・石器・鉄器	同時期の集落と墓地に よって構成される。92 号住居跡からは多量の 投弾形土製品が出土。 91号住居跡からは二次 加熱により黒班の消え た弥生土器が出土。			
	墓地	弥生後期前半	掘立住居物跡	2棟	投弾形土製品多量				
稲崎 A	集落	縄文晩期 古墳時代初頭期	甕棺墓	24基	縄文土器 古式土師器	古墳時代初頭期の集落 遺跡。			
			石棺墓	1基					
稲崎 B	集落	古墳時代初頭期	土壊墓	2基	古式土師器				
			貯蔵穴	5基					
			土坑	40基					
			円形周溝伏遺構	6基					
			谷部						
			包含層						
			大溝・大溝支流・上坑	1基					
			住居伏遺構	1軒					
			小溝	2本					

福岡県行政資料

分類番号	JH	所属コード	2133051
登録年度	9	登録番号	18

一般国道210号 浮羽バイパス関係埋蔵文化財調査報告第9集

鷹取五反田遺跡 I

福岡県浮羽郡吉井町大字鷹取所在遺跡の調査

稲崎 A・B 遺跡

福岡県浮羽郡吉井町大字新治所在遺跡の調査

平成10 (1998) 年 3 月 31 日

発行 福岡県教育委員会
〒812-8575 福岡市博多区東公園7番7号
電話 (092) 651-1111

印刷 株式会社 川島弘文社
〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭6丁目4番4号